

第3章 若年者調査

1 対象者についての基本的事項

(1) 記入者

ア 記入者

表 2-1 記入者 (%)

調査数	宛名のご本人	ご家族	その他	無回答
1361 100.0	1303 95.7	55 4.0	1 0.1	3 0.2

アンケートの回答者は、「宛名のご本人」95.7%に対し、「ご家族」4.0%、「その他」0.1%となっている。

イ 本人が回答できない理由

表 2-2 本人が回答できない理由 (%)

調査数	病院に入院中	病气やけが	障害(身体障害、知的障害など)	別居・転居	答えたくない	その他	無回答
55 100.0	- -	3 5.8	11 19.4	3 5.4	10 18.7	27 49.0	1 1.7

本人が回答できない理由としては、「障害(身体障害,知的障害など)」が19.4%、「答えたくない」が18.7%などとなっている。

(2) 年齢別・性別構成

図 2-1 年齢構成

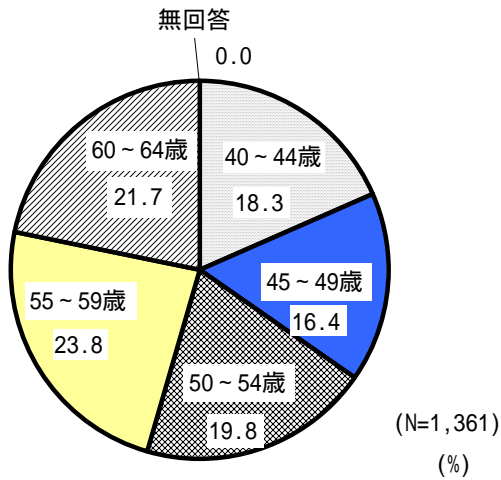
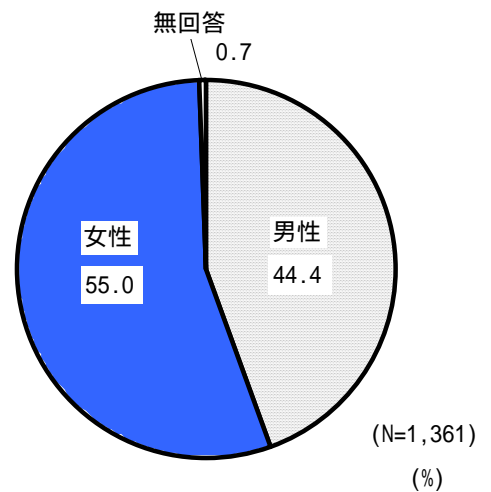


図 2-2 性別構成



調査対象者の年齢構成は、「55～59歳」が23.8%と最も多く、次いで「60～64歳」が21.7%となっている。

性別構成については、男性44.4%、女性55.0%と女性の方が多くなっている。

(3) 居住地域

ア 居住地区

表 2-3 居住地区

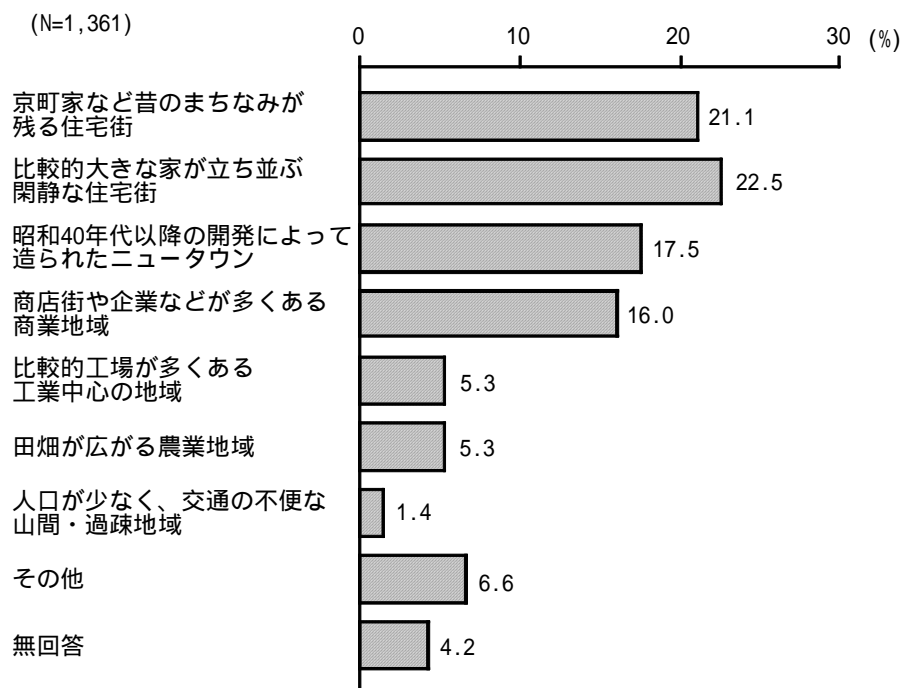
調査数	北区	上京区	左京区	中京区	東山区	山科区	下京区	南区	右京区(京北町を含む)	西京区	洛西支所	伏見区	深草支所	醍醐支所	無回答
1361	107	68	148	102	50	117	66	80	189	140	18	238	15	23	-
100.0	7.9	5.0	10.9	7.5	3.7	8.6	4.8	5.9	13.9	10.3	1.3	17.5	1.1	1.7	-

(%)

居住地区をみると、「伏見区」が17.5%と最も多く、「右京区(京北町を含む)」「左京区」「西京区」も10%を超えている。

イ 地域の特性

図 2-3 地域の特性

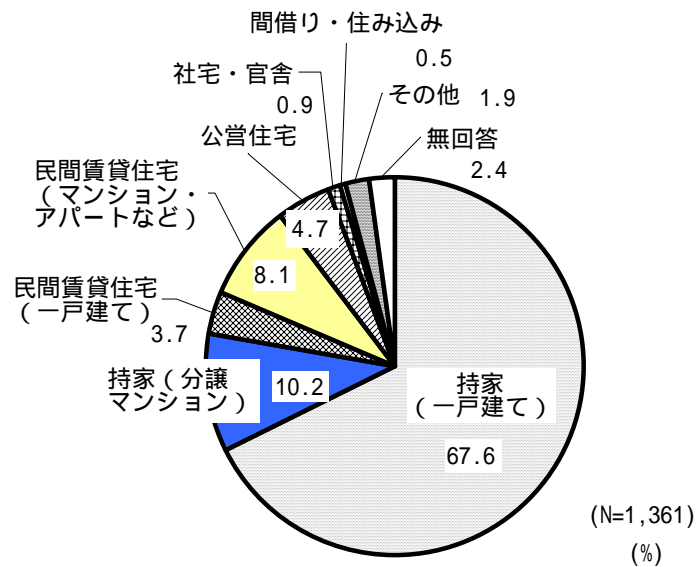


地域の特性については、「比較的大きな家が立ち並ぶ閑静な住宅街」「京町家など昔のまちなみが残る住宅街」がともに20%強と多く、次いで「昭和40年代以降の開発によって造られたニュータウン」(17.5%)、「商店街や企業などが多くある商業地域」(16.0%)の順となっている。

(4) 住居形態

ア 住まいの形態

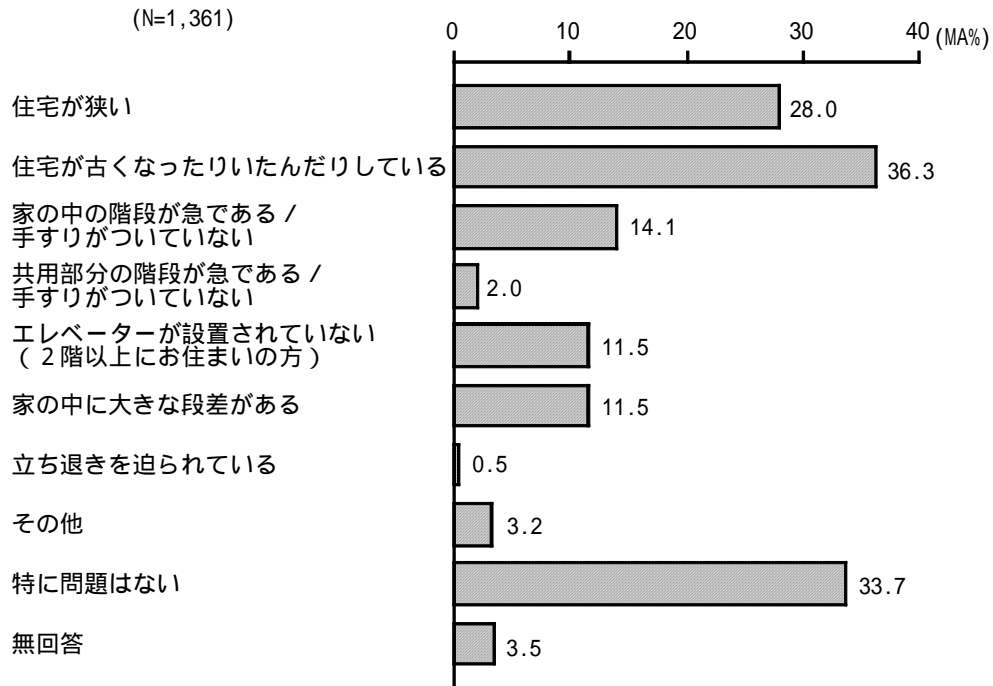
図 2-4 住まいの形態



住まいの形態をみると、「持家(一戸建て)」が67.6%を占め、そのほかは「持家(分譲マンション)」が10.2%、「民間賃貸住宅(マンション・アパートなど)」が8.1%などとなっている。

イ 住まいの状況

図 2-5 住まいの状況

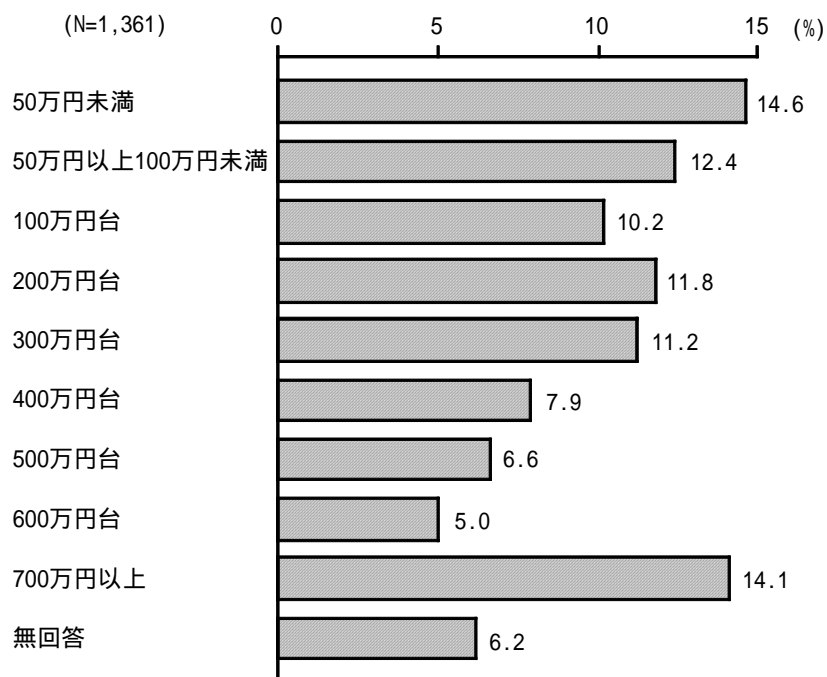


住まいの状況については、「住宅が古くなったりいたんだりしている」が36.3%と最も多く、次いで「住宅が狭い」(28.0%)、「家の中の階段が急である / 手すりがついていない」(14.1%)となっている。

(5) 収入

ア 本人の年収

図 2-6 本人の年収

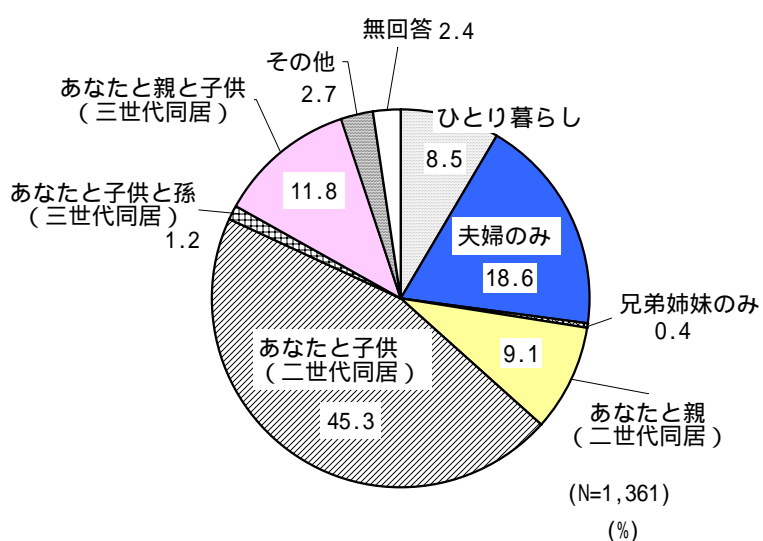


調査対象者本人の年収は、「50万円未満」(14.6%)、「700万円以上」(14.1%)が多くなっている。

(6) 世帯の状況

ア 世帯構成

図 2-7 世帯構成



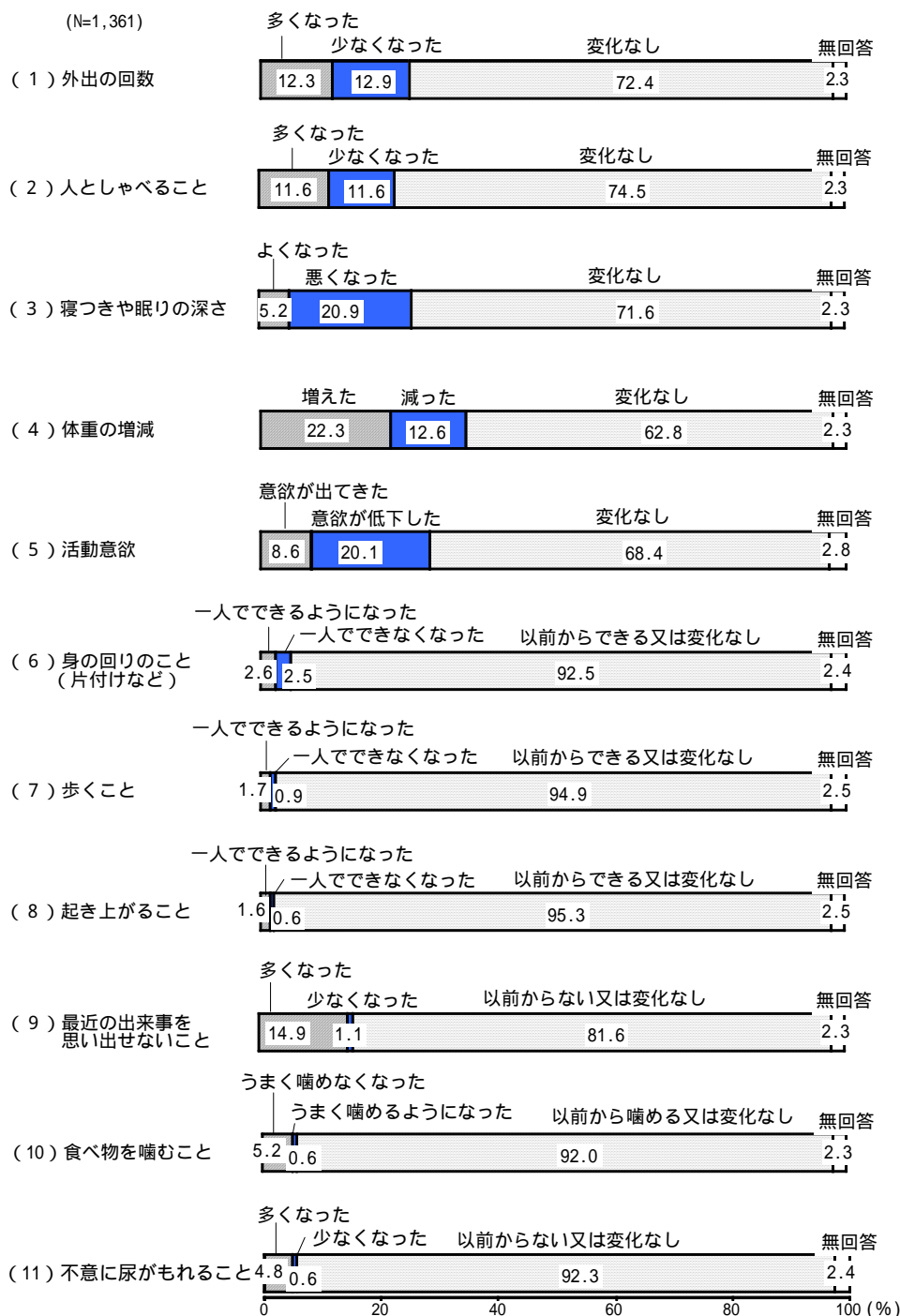
世帯構成は「あなたと子供(二世帯同居)」が45.3%と多く、次いで「夫婦のみ」(18.6%)、「あなたと親と子供(三世帯同居)」(11.8%)、「あなたと親(二世帯同居)」(9.1%)、「ひとり暮らし」(8.5%)の順となっている。

2 身体・生活の状況について

(1) 最近半年間の心身の変化

ア 最近半年間の心身の変化

図 2-8 最近半年間の心身の変化



この半年間に心身状態に変化が見られたかたずねたところ、いずれの項目でも「変化なし」が60~90%台を占めるが、『(3)寝つきや眠りの深さ』『(5)活動意欲』の両項目では、悪化もしくは低下を表す回答が20%強と多くなっている。また、『(4)体重の増減』については、「増えた」が22.3%、「減った」が12.6%となっている。

表 2-4 性・年齢別 最近半年間の心身の変化

	問7(1) 外出の回数					問7(2) 人としゃべること				問7(3) 寝つきや眠りの深さ (%)			
	調査数 (N)	多くなった	少なくなった	変化なし	無回答	多くなった	少なくなった	変化なし	無回答	よくなった	悪くなった	変化なし	無回答
男性(全体)	604	9.1	13.7	74.3	2.9	7.8	13.2	76.1	2.9	4.3	20.5	72.4	2.9
40~44歳	112	10.5	16.2	70.5	2.9	13.3	11.4	72.4	2.9	5.7	21.0	70.5	2.9
45~49歳	100	10.3	6.5	79.4	3.7	10.3	10.3	75.7	3.7	5.6	6.5	84.1	3.7
50~54歳	123	6.4	17.3	74.5	1.8	4.5	17.3	76.4	1.8	2.7	22.7	72.7	1.8
55~59歳	132	10.0	10.8	76.7	2.5	6.7	8.3	82.5	2.5	4.2	20.0	73.3	2.5
60~64歳	137	8.5	16.5	71.3	3.7	5.5	17.7	73.2	3.7	3.7	28.7	64.0	3.7
女性(全体)	748	14.8	12.2	71.1	1.9	14.6	10.5	73.2	1.8	5.9	20.9	71.4	1.8
40~44歳	135	16.5	9.4	73.2	0.8	18.9	5.5	74.8	0.8	7.9	12.6	78.7	0.8
45~49歳	121	20.9	7.0	70.5	1.6	21.7	7.0	69.8	1.6	9.3	15.5	73.6	1.6
50~54歳	147	9.1	15.2	74.2	1.5	6.8	12.9	79.5	0.8	6.1	23.5	69.7	0.8
55~59歳	188	15.2	11.7	71.3	1.8	15.8	11.1	71.3	1.8	5.3	24.0	69.0	1.8
60~64歳	156	13.4	16.6	66.3	3.7	11.2	14.4	70.6	3.7	2.1	26.2	67.9	3.7
無回答	9	24.4	22.2	53.4	-	24.4	-	75.6	-	12.2	54.1	33.7	-
合計	1361	12.3	12.9	72.4	2.3	11.6	11.6	74.5	2.3	5.2	20.9	71.6	2.3

	問7(4) 体重の増減					問7(5) 活動意欲				問7(6) 身の回りのこと(片付けなど) (%)			
	調査数 (N)	増えた	減った	変化なし	無回答	意欲が出てきた	意欲が低下した	変化なし	無回答	一人ですることができるようになった	一人でできなくなった	は以前からできる又は以前からできない	無回答
男性(全体)	604	18.5	14.2	64.4	2.9	7.3	19.6	69.6	3.4	3.3	3.3	90.6	2.9
40~44歳	112	18.1	12.4	66.7	2.9	7.6	21.0	68.6	2.9	2.9	1.9	92.4	2.9
45~49歳	100	23.4	6.5	66.4	3.7	5.6	13.1	77.6	3.7	1.9	2.8	91.6	3.7
50~54歳	123	19.1	15.5	63.6	1.8	4.5	18.2	74.5	2.7	3.6	4.5	90.0	1.8
55~59歳	132	19.2	14.2	64.2	2.5	9.2	16.7	70.8	3.3	3.3	2.5	91.7	2.5
60~64歳	137	14.0	20.1	62.2	3.7	9.1	27.4	59.1	4.3	4.3	4.3	87.8	3.7
女性(全体)	748	25.2	11.3	61.7	1.8	9.6	20.5	67.5	2.4	2.1	1.9	94.0	2.0
40~44歳	135	22.8	9.4	66.9	0.8	14.2	15.7	69.3	0.8	-	1.6	97.6	0.8
45~49歳	121	28.7	10.9	58.9	1.6	10.9	17.8	69.8	1.6	0.8	2.3	94.6	2.3
50~54歳	147	29.5	10.6	59.1	0.8	6.1	26.5	65.9	1.5	2.3	0.8	96.2	0.8
55~59歳	188	24.6	11.1	62.6	1.8	9.9	21.1	66.1	2.9	3.5	1.8	93.0	1.8
60~64歳	156	21.4	13.9	61.0	3.7	7.5	20.3	67.4	4.8	3.2	3.2	89.3	4.3
無回答	9	31.5	12.2	45.9	10.4	12.2	21.1	66.7	-	-	-	100.0	-
合計	1361	22.3	12.6	62.8	2.3	8.6	20.1	68.4	2.8	2.6	2.5	92.5	2.4

	問7(7) 歩くこと					問7(8) 起き上がること				問7(9) 最近の出来事を思い出せないこと (%)			
	調査数 (N)	一人ですることができるようになった	一人でできなくなった	は以前からできる又は以前からできない	無回答	一人ですることができるようになった	一人でできなくなった	は以前からできる又は以前からできない	無回答	多くなった	少なくなった	変化なし	無回答
男性(全体)	604	1.8	1.3	93.6	3.3	1.6	1.0	94.4	3.1	17.0	1.4	78.8	2.8
40~44歳	112	1.0	1.0	95.2	2.9	1.0	1.0	95.2	2.9	9.5	-	87.6	2.9
45~49歳	100	1.9	0.9	93.5	3.7	1.9	-	94.4	3.7	16.8	0.9	78.5	3.7
50~54歳	123	0.9	2.7	93.6	2.7	0.9	1.8	95.5	1.8	20.9	2.7	74.5	1.8
55~59歳	132	2.5	-	93.3	4.2	1.7	-	95.0	3.3	19.2	0.8	77.5	2.5
60~64歳	137	2.4	1.8	92.7	3.0	2.4	1.8	92.1	3.7	17.7	2.4	76.8	3.0
女性(全体)	748	1.6	0.6	95.8	1.9	1.6	0.3	96.1	2.0	12.9	0.9	84.2	2.0
40~44歳	135	-	-	99.2	0.8	-	-	98.4	1.6	11.0	-	88.2	0.8
45~49歳	121	0.8	0.8	96.1	2.3	0.8	0.8	96.9	1.6	12.4	1.6	84.5	1.6
50~54歳	147	2.3	1.5	95.5	0.8	2.3	-	97.0	0.8	15.9	0.8	81.8	1.5
55~59歳	188	1.2	-	97.1	1.8	1.2	0.6	96.5	1.8	12.3	1.2	84.8	1.8
60~64歳	156	3.7	1.1	91.4	3.7	3.7	-	92.0	4.3	12.8	1.1	81.8	4.3
無回答	9	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	44.9	-	55.1	-
合計	1361	1.7	0.9	94.9	2.5	1.6	0.6	95.3	2.5	14.9	1.1	81.6	2.3

問7(10) 食べ物を嘔むこと

問7(11) 不意に尿がもれること

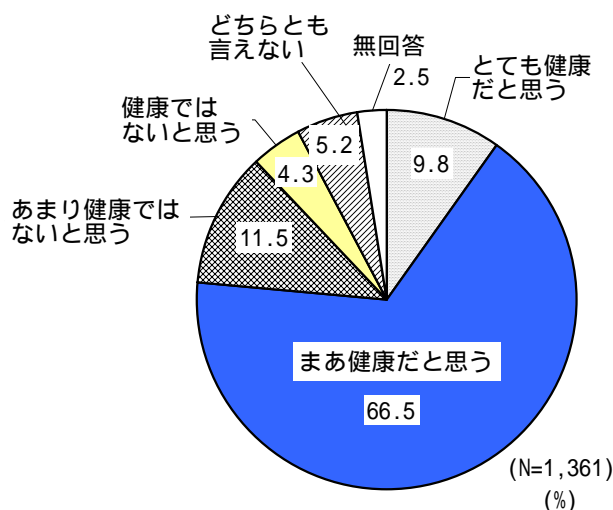
	調査数(N)	問7(10) 食べ物を嘔むこと (%)				問7(11) 不意に尿がもれること (%)			
		うまくな なかつた	うまくな なかつた	は以前か ら変化な し	無回答	多くな つた	少くな つた	変以 前か らな い又 は	無回 答
男性(全体)	604	7.0	0.8	89.4	2.8	4.6	0.8	91.6	3.0
40~44歳	112	2.9	-	94.3	2.9	1.9	-	95.2	2.9
45~49歳	100	3.7	1.9	90.7	3.7	1.9	1.9	92.5	3.7
50~54歳	123	3.6	1.8	92.7	1.8	8.2	0.9	89.1	1.8
55~59歳	132	8.3	-	89.2	2.5	3.3	-	94.2	2.5
60~64歳	137	14.6	0.6	81.7	3.0	6.7	1.2	87.8	4.3
女性(全体)	748	3.6	0.4	94.1	1.9	5.0	0.4	92.7	1.9
40~44歳	135	-	-	99.2	0.8	3.1	-	96.1	0.8
45~49歳	121	2.3	0.8	95.3	1.6	4.7	0.8	93.0	1.6
50~54歳	147	4.5	0.8	93.9	0.8	5.3	0.8	92.4	1.5
55~59歳	188	5.8	-	92.4	1.8	6.4	-	91.8	1.8
60~64歳	156	4.3	0.5	90.9	4.3	4.8	0.5	90.9	3.7
無回答	9	10.4	-	89.6	-	-	-	100.0	-
合計	1361	5.2	0.6	92.0	2.3	4.8	0.6	92.3	2.4

男性全体と女性全体を比べると、『(1)外出の回数』『(2)人としゃべること』『(5)活動意欲』などの項目について、女性の方が男性より、改善を表す回答が多くみられる。

性・年齢別にみると、前述の3項目については、女性の40歳代で改善傾向が強くみられる。一方、男性の60~64歳では、『(3)寝つきや眠りの深さ』『(5)活動意欲』の2項目について、悪化もしくは低下を表す回答が30%近くを占めている。

イ 日ごろの健康状態

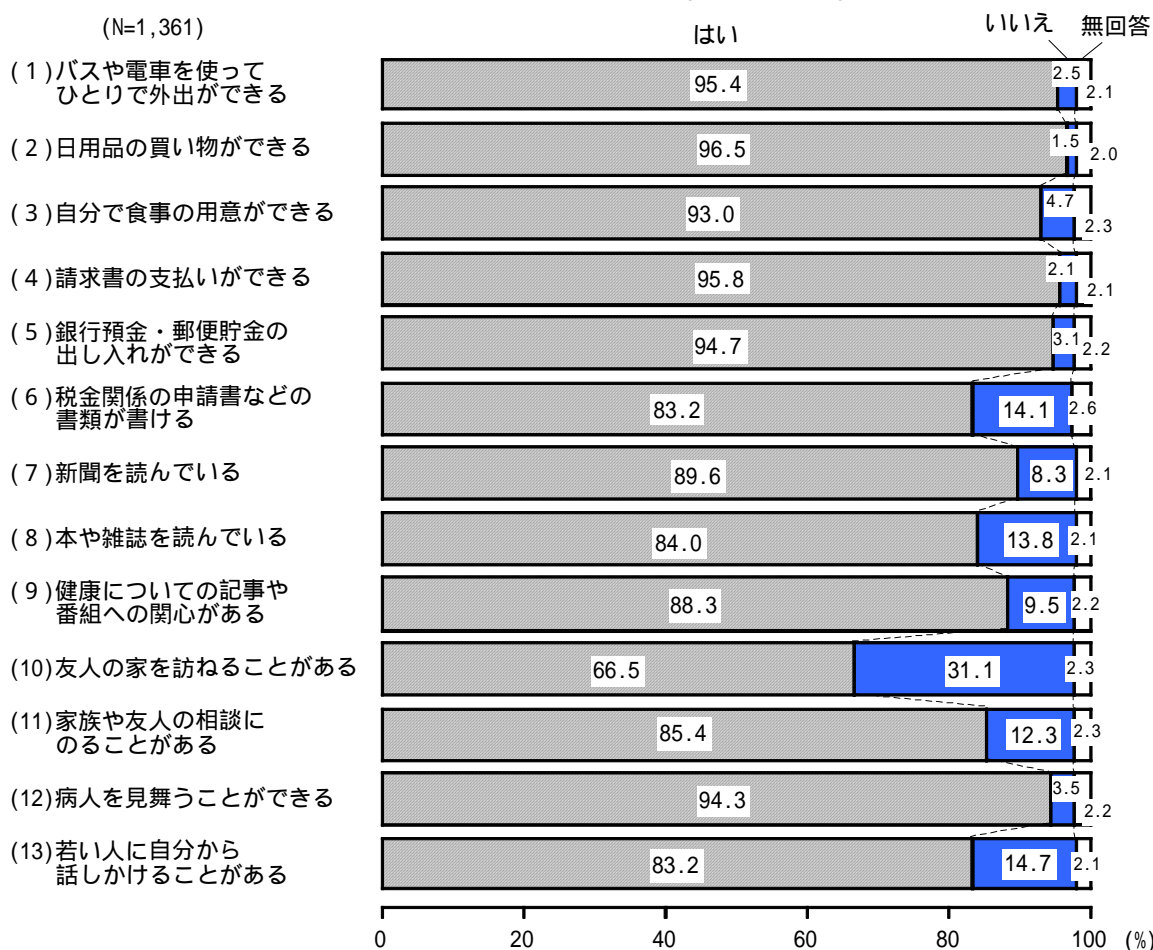
図2-9 日ごろの健康状態



日ごろの健康状態については、『健康だと思う(計)』(「とても健康だと思う」に「まあ健康だと思う」を加えた割合)が76.3%を占め、『健康ではないと思う(計)』(「健康ではないと思う」に「あまり健康ではないと思う」を加えた割合)は15.8%となっている。

(2) 老研式活動能力指標（高次ADL）

図 2-10 老研式活動能力指標（高次ADL）



高次の日常生活動作をみると、老研式活動能力指標の13項目中12項目について「はい」が80%以上を占めるが、「(10)友人の家を訪ねることがある」のみ66.5%と低くなっている。老研式活動能力指標総合点の平均は11.7点となっている。

表 2-5 性・年齢別 老研式活動能力指標（高次ADL）

(%)

	調査数 (N)	0点	4点	7点	10点以上	無回答	平均
男性 (全体)	604	1.0	2.0	10.0	84.9	2.1	11.4
40～44歳	112	1.0	1.0	3.8	93.3	1.0	11.7
45～49歳	100	-	-	13.1	85.0	1.9	11.7
50～54歳	123	2.7	5.5	9.1	81.8	0.9	11.1
55～59歳	132	-	0.8	8.3	87.5	3.3	11.7
60～64歳	137	1.2	2.4	15.2	78.0	3.0	11.0
女性 (全体)	748	0.7	0.6	6.8	89.9	2.0	12.0
40～44歳	135	1.6	-	2.4	96.1	-	12.3
45～49歳	121	-	-	6.2	92.2	1.6	12.2
50～54歳	147	0.8	0.8	5.3	92.4	0.8	12.0
55～59歳	188	-	0.6	7.0	88.3	4.1	12.1
60～64歳	156	1.1	1.6	12.3	82.4	2.7	11.5
無回答	9	-	-	12.2	87.8	-	11.6
合計	1361	0.8	1.2	8.3	87.7	2.0	11.7

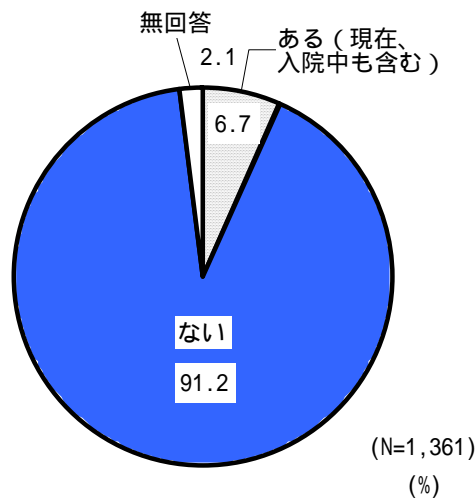
老研式活動能力指標総合点の男女別の平均は、男性全体 11.4 点、女性全体 12.0 点となっている。

性・年齢別に分布をみると、「10 点以上」の割合は、いずれの年齢層においても女性の方が男性よりも高く、特に 50～54 歳では、男性 81.8% に対し女性 92.4% と、10.6 ポイントの差がみられる。総合点の平均は、男性はいずれの年齢層も 11 点台、女性は 50 歳代まで 12 点台で、60～64 歳では 11.5 点となっている。

(3) 入院経験と現在治療を受けている病気

ア この 1 年間に入院した経験

図 2-11 この 1 年間に入院した経験



この 1 年間に入院したことがある人は、現在入院中の人も含め 6.7% となっている。

イ 現在治療を受けている病気

表 2-6 現在治療を受けている病気

(MA%)

調査数	高血圧症	高脂血症	心臓病（心筋梗塞、狭心症など）	脳血管疾患（脳梗塞、脳出血など）	呼吸器系疾患（喘息、肺炎など）	結核	消化器系疾患	泌尿器系疾患	腎臓病	肝臓病	糖尿病	腰痛、膝痛などの病気	眼の病気	耳、鼻の病気	精神疾患	歯の病気	その他	特になし	無回答
1361	175	83	38	14	20	-	58	14	11	27	73	142	54	48	36	151	125	618	73
100.0	12.9	6.1	2.8	1.0	1.5	-	4.2	1.0	0.8	2.0	5.3	10.5	4.0	3.5	2.6	11.1	9.2	45.4	5.4

現在治療を受けている病気としては、「高血圧症」12.9%、「歯の病気」11.1%、「腰痛、膝痛などの病気」10.5%などとなっている。

表 2-7 性・年齢別 現在治療を受けている病気

	調査数 (N)	高血圧症	高脂血症	心臓病(心筋梗塞、狭心症など)	脳血管疾患(脳梗塞、脳出血など)	呼吸器系疾患(喘息、肺炎など)	結核	消化器系疾患	泌尿器系疾患	腎臓病	肝臓病
男性(全体)	604	16.0	6.2	3.7	1.7	2.1	-	4.9	1.7	1.2	3.5
40～44歳	112	4.8	2.9	1.9	-	4.8	-	1.0	-	-	1.0
45～49歳	100	12.1	7.5	1.9	2.8	1.9	-	5.6	-	2.8	2.8
50～54歳	123	16.4	7.3	5.5	0.9	0.9	-	2.7	0.9	0.9	7.3
55～59歳	132	18.3	4.2	2.5	1.7	0.8	-	3.3	1.7	-	2.5
60～64歳	137	25.6	9.1	6.1	3.0	2.4	-	11.0	4.9	2.4	3.7
女性(全体)	748	10.5	5.8	2.1	0.5	0.8	-	3.8	0.5	0.4	0.8
40～44歳	135	3.1	0.8	-	-	0.8	-	1.6	-	-	-
45～49歳	121	4.7	3.1	2.3	0.8	0.8	-	3.1	-	-	-
50～54歳	147	12.1	6.8	2.3	-	0.8	-	3.0	0.8	-	-
55～59歳	188	10.5	8.2	0.6	0.6	1.2	-	4.7	-	-	1.8
60～64歳	156	19.8	8.6	5.3	1.1	0.5	-	5.9	1.6	2.1	1.6
無回答	9	-	21.5	-	-	11.8	-	-	-	-	-
合計	1361	12.9	6.1	2.8	1.0	1.5	-	4.2	1.0	0.8	2.0

	調査数 (N)	糖尿病	腰痛、膝痛などの病気	眼の病気	耳、鼻の病気	精神疾患	歯の病気	その他	特にない	無回答
男性(全体)	604	8.3	9.8	4.1	4.2	2.5	12.1	7.7	40.9	5.3
40～44歳	112	3.8	11.4	1.0	1.9	3.8	5.7	5.7	59.0	4.8
45～49歳	100	3.7	9.3	5.6	5.6	3.7	8.4	7.5	52.3	5.6
50～54歳	123	10.0	11.8	4.5	1.8	1.8	14.5	10.9	37.3	4.5
55～59歳	132	14.2	3.3	3.3	4.2	2.5	10.8	8.3	33.3	7.5
60～64歳	137	7.9	13.4	6.1	7.3	1.2	18.9	6.1	28.0	4.3
女性(全体)	748	3.1	10.9	3.9	3.0	2.8	10.4	10.2	49.3	5.3
40～44歳	135	-	8.7	1.6	1.6	1.6	4.7	13.4	66.9	1.6
45～49歳	121	3.1	10.1	-	1.6	2.3	9.3	7.0	58.1	7.0
50～54歳	147	2.3	7.6	3.8	0.8	3.0	7.6	12.1	47.7	6.8
55～59歳	188	5.3	11.1	3.5	4.7	2.9	11.1	7.6	48.5	5.3
60～64歳	156	3.7	16.6	9.6	5.3	3.7	18.2	11.2	29.4	5.9
無回答	9	-	12.2	-	-	-	-	19.7	34.8	12.2
合計	1361	5.3	10.5	4.0	3.5	2.6	11.1	9.2	45.4	5.4

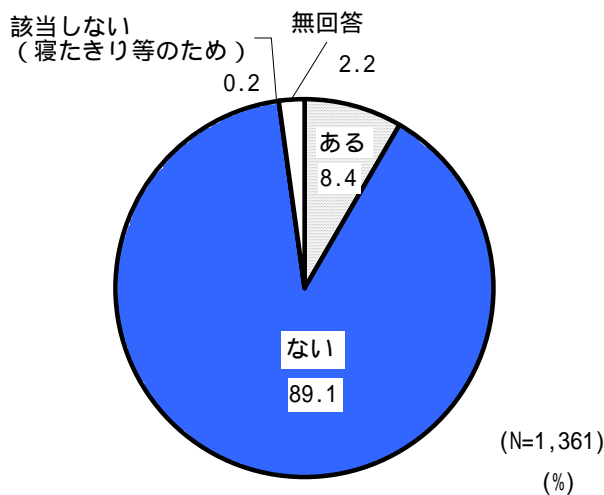
男性全体と女性全体を比べると、現在治療を受けている病気が「特にない」と回答した割合は男性 40.9%、女性 49.3%となっており、男性の方が女性よりも、何らかの病気の治療を受けている割合が高くなっている。

性・年齢別にみると、「高血圧症」「歯の病気」の割合は、男女とも 60～64 歳が最も高く、特に男性の 60～64 歳では「高血圧症」が 25.6%となっている。また、「糖尿病」については男性の 50 歳代で、「消化器系疾患」については男性の 60～64 歳でそれぞれ 10%台となっている。

(4) 転倒経験

ア この1年間に転倒してケガをした経験

図 2-12 この1年間に転倒してケガをした経験



この1年間に転倒してケガをしたことがある人は、8.4%となっている。

表 2-8 性・年齢別 この1年間に転倒してケガをした経験 (%)

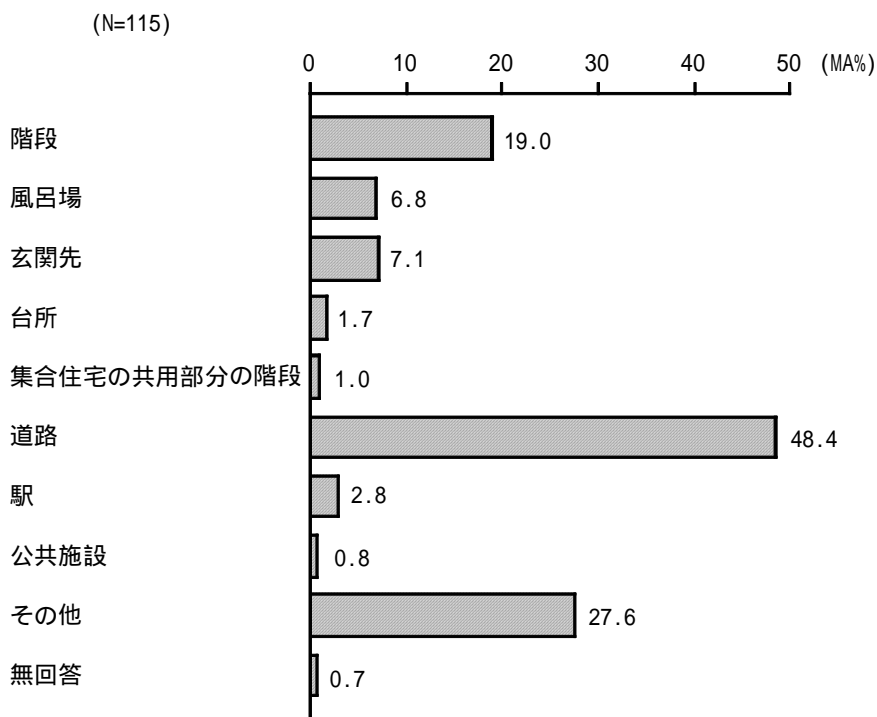
	調査数 (N)	ある	ない	該当しない (寝たきり等のため)	無回答
男性 (全体)	604	7.7	89.5	0.5	2.4
40～44歳	112	1.9	96.2	-	1.9
45～49歳	100	7.5	90.7	-	1.9
50～54歳	123	11.8	87.3	-	0.9
55～59歳	132	9.2	86.7	0.8	3.3
60～64歳	137	7.3	87.8	1.2	3.7
女性 (全体)	748	8.9	89.0	-	2.1
40～44歳	135	2.4	97.6	-	-
45～49歳	121	8.5	89.1	-	2.3
50～54歳	147	9.1	89.4	-	1.5
55～59歳	188	8.2	88.3	-	3.5
60～64歳	156	15.5	81.8	-	2.7
無回答	9	22.6	77.4	-	-
合計	1361	8.4	89.1	0.2	2.2

男性全体と女性全体を比べると、転倒経験のある人の割合は、男性7.7%、女性8.9%となっている。

性・年齢別にみると、転倒経験のある人の割合は、男性では50～54歳で11.8%、女性では60～64歳で15.5%と最も高くなっている。

イ 転倒した場所

図 2-13 転倒した場所

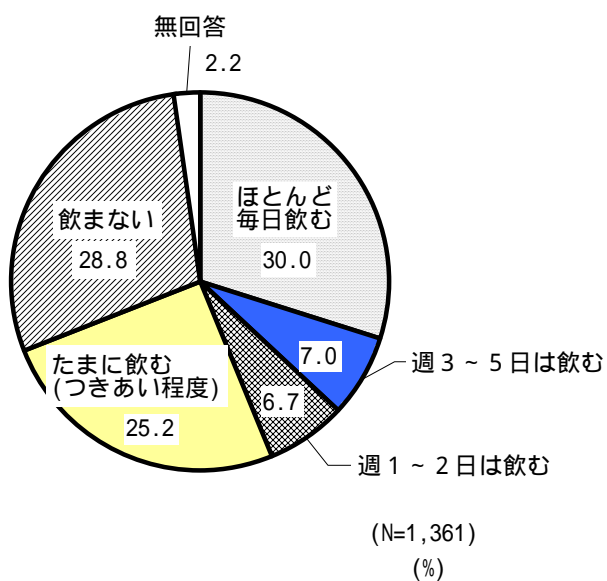


転倒した場所としては、「道路」が48.4%と圧倒的に多く、「階段」も19.0%とやや多くなっている。

(5) 飲酒・喫煙の習慣

ア 飲酒の状況

図 2-14 飲酒の状況



週1回以上の飲酒習慣のある人は43.7%であり、「ほとんど毎日飲む」が30.0%となっている。

表 2-9 性・年齢別 飲酒の状況

(%)

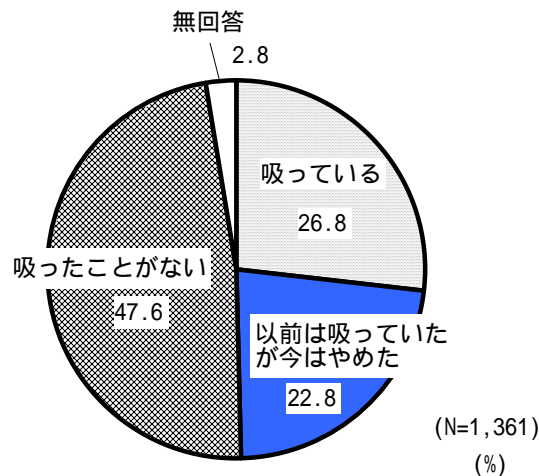
	調査数 (N)	ほとんど毎日飲む	週3~5日は飲む	週1~2日は飲む	いたまに飲む(つきあ程度)	飲まない	無回答
男性(全体)	604	47.9	8.9	6.7	16.4	17.4	2.7
40~44歳	112	42.9	11.4	7.6	23.8	11.4	2.9
45~49歳	100	45.8	7.5	8.4	15.0	20.6	2.8
50~54歳	123	43.6	9.1	6.4	16.4	21.8	2.7
55~59歳	132	54.2	9.2	4.2	15.8	15.0	1.7
60~64歳	137	51.2	7.3	7.3	12.2	18.3	3.7
女性(全体)	748	15.6	5.5	6.9	32.1	38.1	1.9
40~44歳	135	11.8	5.5	7.9	33.1	39.4	2.4
45~49歳	121	20.2	7.0	7.8	32.6	29.5	3.1
50~54歳	147	21.2	5.3	4.5	28.8	38.6	1.5
55~59歳	188	12.9	5.3	8.2	32.7	39.8	1.2
60~64歳	156	13.4	4.8	5.9	33.2	41.2	1.6
無回答	9	33.3	12.2	-	33.0	21.5	-
合計	1361	30.0	7.0	6.7	25.2	28.8	2.2

男性全体と女性全体を比べると、ほとんど毎日飲酒する習慣がある人の割合は、男性 47.9%に対し、女性 15.6%と、大きな差がみられる。

性・年齢別にみると、ほとんど毎日飲酒する習慣がある人の割合は、男性の 55~59歳で 54.2%と最も高く、60~64歳でも 50%を超えている。

イ 喫煙の状況

図 2-15 喫煙の状況



現在、喫煙習慣がある人は全体の 26.8%であり、「以前吸っていたが今はやめた」(22.8%)を含めると約半数を占めている。

表 2-10 性・年齢別 喫煙の状況

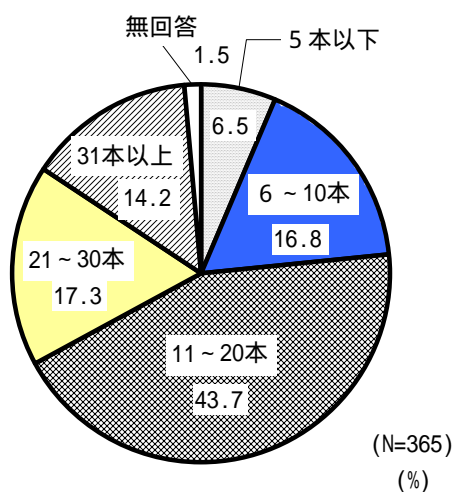
	調査数 (N)	吸 つ て い る	今 以 前 は 吸 つ て い た が	吸 つ た こ と が な い	無 回 答
男性(全体)	604	43.0	34.6	19.2	3.3
40～44歳	112	46.7	21.9	27.6	3.8
45～49歳	100	41.1	30.8	25.2	2.8
50～54歳	123	50.0	29.1	16.4	4.5
55～59歳	132	40.0	41.7	16.7	1.7
60～64歳	137	37.8	45.7	12.8	3.7
女性(全体)	748	13.9	13.3	70.5	2.4
40～44歳	135	10.2	18.9	68.5	2.4
45～49歳	121	16.3	17.1	64.3	2.3
50～54歳	147	17.4	14.4	65.9	2.3
55～59歳	188	15.2	9.9	73.1	1.8
60～64歳	156	10.2	8.6	78.1	3.2
無回答	9	24.0	21.5	54.5	-
合計	1361	26.8	22.8	47.6	2.8

男性全体と女性全体を比べると、現在、喫煙習慣がある人の割合は、男性 43.0% に対し、女性 13.9% と、大きな差がみられる。

性・年齢別にみると、現在、喫煙習慣がある人の割合は、男性の 50～54 歳で 50.0% と最も高い一方、男性の 55～64 歳では「以前は吸っていたが今はやめた」が最も多くなっている

ウ 1日の喫煙本数

図 2-16 1日の喫煙本数

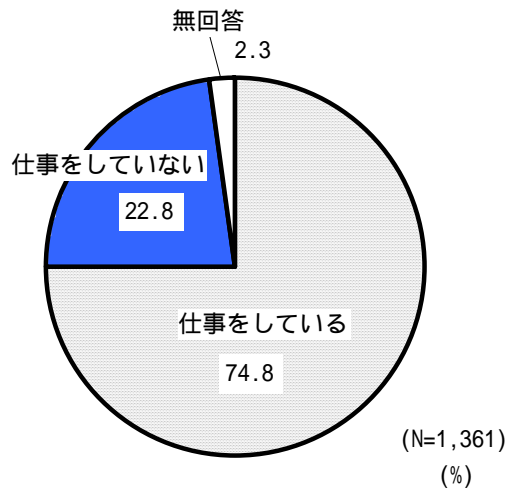


1日の喫煙本数をみると、「11～20本」が 43.7% と多くなっている。

(6) 就労状況

ア 就労の有無

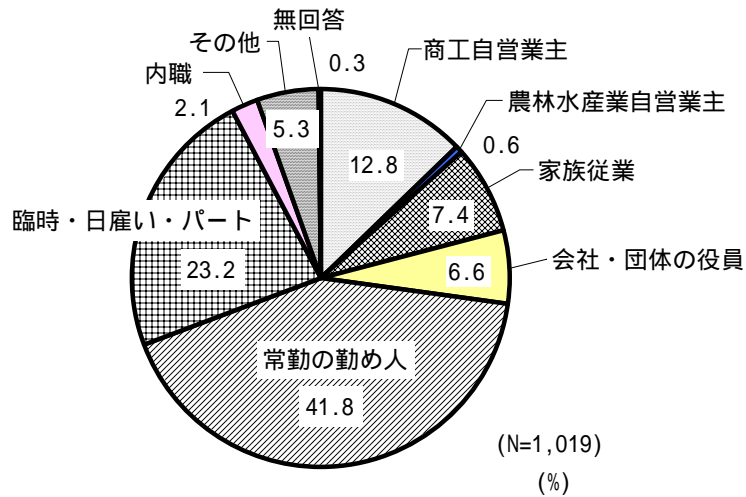
図 2-17 就労の有無



現在、就労している人は74.8%、就労していない人は22.8%となっている。

イ 就労形態

図 2-18 職種

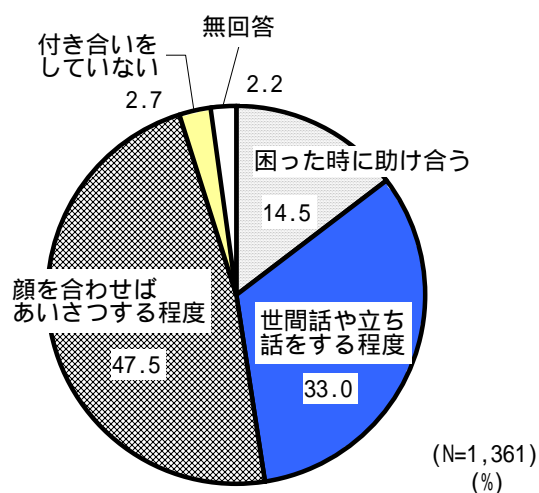


就労している場合の形態は、「常勤の勤め人」が41.8%と最も多く、次いで「臨時・日雇い・パート」(23.2%)、「商工自営業主」(12.8%)、「家族従業」(7.4%)、「会社・団体の役員」(6.6%)の順となっている。

(7) 近所付き合いと社会参加・生きがい活動の状況

ア 近所付き合いの程度

図 2-19 近所付き合いの程度



近所付き合いの程度をみると、「顔を合わせばあいさつする程度」が 47.5%と最も多く、次いで「世間話や立ち話をする程度」(33.0%)、「困った時に助け合う」(14.5%)の順となっている。

表 2-11 性・年齢別 近所付き合いの程度

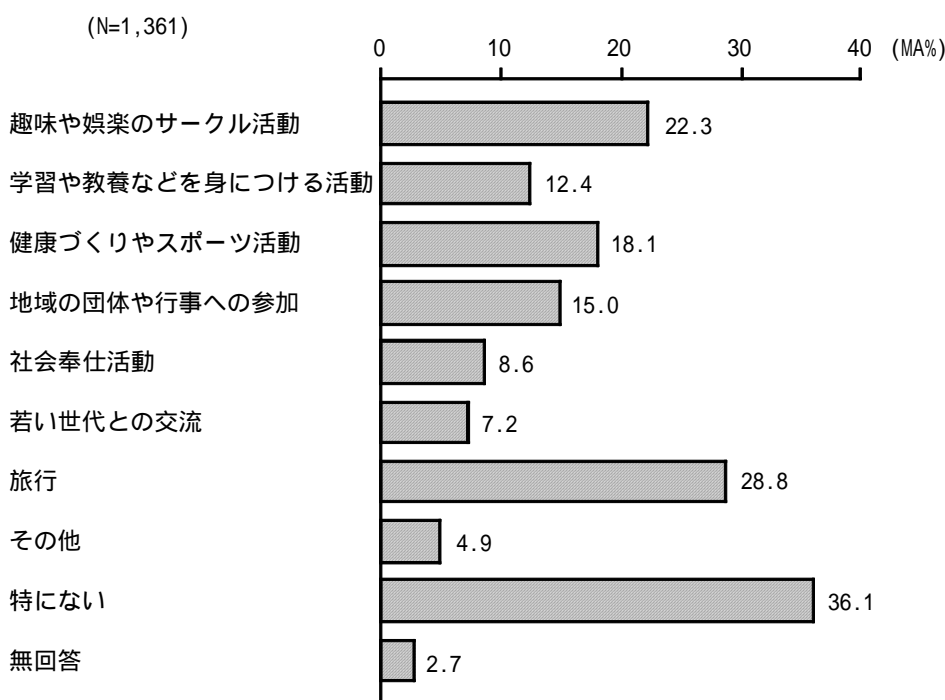
	調査数 (N)	困った時に助け合う (%)	世間話や立ち話をする程度 (%)	顔を合わせばあいさつする程度 (%)	付き合いをしていない (%)	無回答 (%)
男性 (全体)	604	11.6	23.0	58.9	3.8	2.7
40～44歳	112	6.7	18.1	69.5	2.9	2.9
45～49歳	100	12.1	20.6	61.7	2.8	2.8
50～54歳	123	18.2	19.1	54.5	5.5	2.7
55～59歳	132	10.0	26.7	61.7	-	1.7
60～64歳	137	11.0	28.7	49.4	7.3	3.7
女性 (全体)	748	16.9	41.3	38.1	1.9	1.8
40～44歳	135	11.8	40.9	41.7	3.1	2.4
45～49歳	121	17.1	37.2	41.1	2.3	2.3
50～54歳	147	17.4	39.4	40.9	0.8	1.5
55～59歳	188	18.7	43.9	35.1	1.8	0.6
60～64歳	156	18.7	43.3	33.7	1.6	2.7
無回答	9	10.4	24.0	65.6	-	-
合計	1361	14.5	33.0	47.5	2.7	2.2

男性全体と女性全体を比べると、女性の方が男性よりも「世間話や立ち話をする程度」の割合が高く、男性の方が女性よりも「顔を合わせばあいさつする程度」の割合が高くなっており、全体として、男性の方が近所付き合いが希薄な傾向にある。

性・年齢別にみると、「顔を合わせばあいさつする程度」は、40～44歳の男性で69.5%と最も高く、45～49歳及び55～59歳においても60%強となっている。一方、女性では年齢が上がるにしたがって「困ったときに助け合う」の割合が高くなっている。

イ 生きがい活動への参加状況

図 2-20 生きがい活動への参加状況



現在参加している生きがい活動は、「特にない」が36.1%と最も多く、次いで「旅行」(28.8%)、「趣味や娯楽のサークル活動」(22.3%)、「健康づくりやスポーツ活動」(18.1%)、「地域の団体や行事への参加」(15.0%)などとなっている。

表 2-12 性・年齢別 生きがい活動への参加状況

	調査数 (N)	趣味や娯楽のサークル活動	学習や教養などを身につける活動	健康づくりやスポーツ活動	地域の団体や行事への参加	社会奉仕活動	若い世代との交流	旅行	その他	特にない	無回答
男性(全体)	604	18.6	9.2	19.7	14.5	9.1	6.2	23.4	4.8	41.4	3.2
40～44歳	112	15.2	11.4	17.1	9.5	6.7	4.8	21.9	4.8	40.0	2.9
45～49歳	100	20.6	11.2	22.4	19.6	13.1	9.3	27.1	4.7	39.3	2.8
50～54歳	123	16.4	11.8	14.5	14.5	8.2	7.3	20.9	5.5	45.5	2.7
55～59歳	132	19.2	5.8	19.2	15.8	10.0	4.2	22.5	5.0	40.8	1.7
60～64歳	137	21.3	6.7	25.0	13.4	7.9	6.1	25.0	4.3	40.9	5.5
女性(全体)	748	25.5	14.9	16.9	15.6	8.4	8.0	33.0	5.0	32.0	2.2
40～44歳	135	22.0	11.8	20.5	18.1	6.3	5.5	31.5	4.7	30.7	2.4
45～49歳	121	19.4	13.2	14.0	16.3	8.5	10.1	26.4	1.6	37.2	2.3
50～54歳	147	28.0	18.9	16.7	12.9	9.8	9.1	25.0	3.0	37.1	2.3
55～59歳	188	28.1	18.7	18.7	14.0	11.1	7.0	35.7	5.8	29.2	0.6
60～64歳	156	27.8	10.7	13.9	17.1	5.3	8.6	43.9	8.6	27.8	3.7
無回答	9	-	12.2	19.7	-	-	9.3	40.8	-	24.4	12.2
合計	1361	22.3	12.4	18.1	15.0	8.6	7.2	28.8	4.9	36.1	2.7

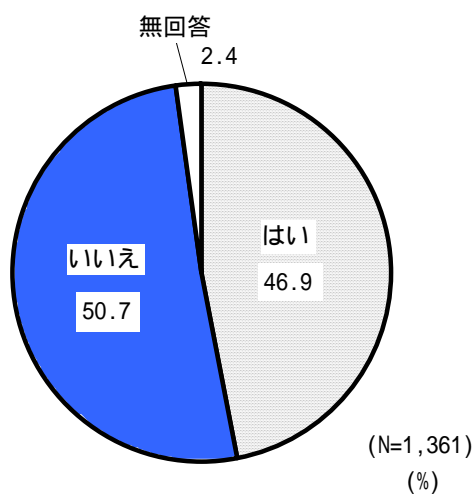
男性全体と女性全体を比べると、趣味活動や学習活動、旅行などについて、女性の方が男性よりも参加割合が高くなっている。

性・年齢別にみると、「健康づくりやスポーツ活動」については男性の60～64歳で25.0%、「旅行」については女性の55～64歳で30～40%台と高くなっている。

(8) 運動やスポーツの状況

ア 運動やスポーツの有無

図 2-21 運動やスポーツの有無



日ごろから意識して運動やスポーツをしている人は、全体の 46.9% となっている。

表 2-13 性・年齢別 運動やスポーツの有無

(%)

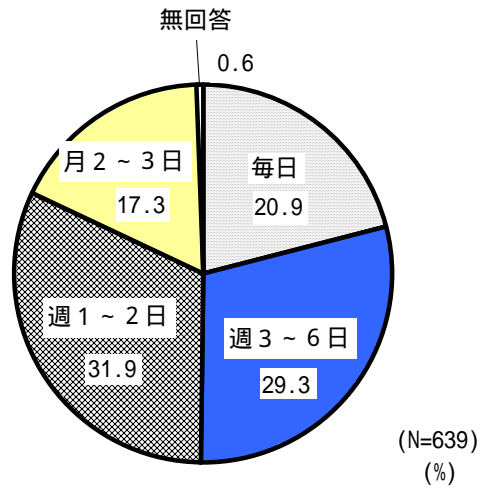
	調査数 (N)	はい	いいえ	無回答
男性 (全体)	604	49.2	48.0	2.7
40～44歳	112	48.6	48.6	2.9
45～49歳	100	43.9	53.3	2.8
50～54歳	123	45.5	51.8	2.7
55～59歳	132	48.3	50.0	1.7
60～64歳	137	57.9	38.4	3.7
女性 (全体)	748	45.3	52.7	2.1
40～44歳	135	40.2	57.5	2.4
45～49歳	121	36.4	60.5	3.1
50～54歳	147	47.7	50.8	1.5
55～59歳	188	50.3	48.5	1.2
60～64歳	156	48.1	49.2	2.7
無回答	9	30.7	69.3	-
合計	1361	46.9	50.7	2.4

男性全体と女性全体を比べると、日ごろから意識して運動やスポーツをしている人の割合は、男性 49.2%、女性 45.3%と、男性の方がやや高くなっている。

性・年齢別にみると、日ごろから意識して運動やスポーツをしている人の割合は、男性の 60～64 歳で 57.9%と最も高く、女性の 45～49 歳で 36.4%と最も低くなっている。

イ 運動やスポーツを行う頻度

図 2-22 運動やスポーツを行う頻度

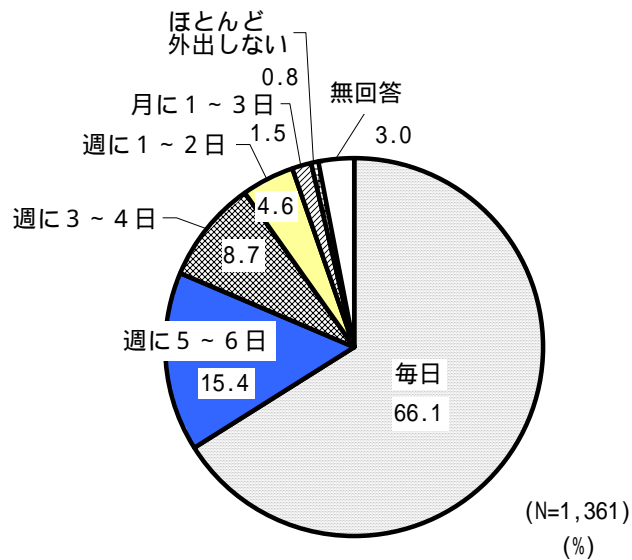


運動やスポーツをする頻度は、「週 1 ~ 2 日」が 31.9%と最も多く、次いで「週 3 ~ 6 日」(29.3%)、「毎日」(20.9%)、「月 2 ~ 3 日」(17.3%)の順となっている。

(9) 外出の状況

ア 外出の頻度

図 2-23 外出の頻度



外出する頻度をみると、「毎日」が 66.1%を占め、「週に 5 ~ 6 日」(15.4%)を合わせると 80%を超える。

表 2-14 性・年齢別 外出の頻度

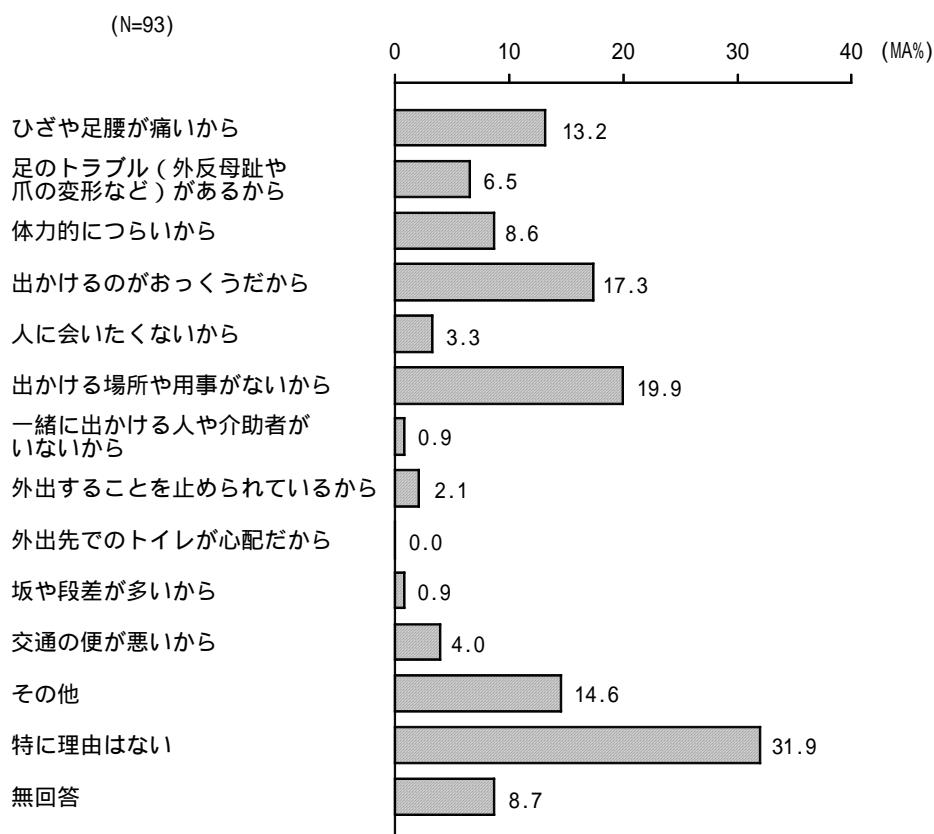
	調査数 (N)	(%)						
		毎日	週に 5 6 日	週に 3 4 日	週に 1 2 日	月に 1 3 日	ほとんど 外出しない	無回答
男性(全体)	604	68.7	13.6	5.7	5.9	1.9	1.0	3.2
40～44歳	112	79.0	11.4	1.9	2.9	1.0	1.0	2.9
45～49歳	100	76.6	11.2	2.8	4.7	2.8	-	1.9
50～54歳	123	63.6	13.6	5.5	9.1	2.7	2.7	2.7
55～59歳	132	70.8	14.2	6.7	5.0	0.8	-	2.5
60～64歳	137	56.7	16.5	10.4	7.3	2.4	1.2	5.5
女性(全体)	748	64.2	17.0	10.9	3.6	1.1	0.6	2.7
40～44歳	135	70.9	15.7	6.3	3.1	0.8	-	3.1
45～49歳	121	73.6	14.7	4.7	3.1	-	-	3.9
50～54歳	147	61.4	22.0	12.1	3.8	-	-	0.8
55～59歳	188	66.1	14.6	11.7	2.9	2.3	-	2.3
60～64歳	156	51.3	18.2	17.6	4.8	1.6	2.7	3.7
無回答	9	54.1	-	24.4	-	9.3	-	12.2
合計	1361	66.1	15.4	8.7	4.6	1.5	0.8	3.0

男性全体と女性全体を比べると、毎日外出する人の割合は、男性 68.7%、女性 64.2% となっている。

性・年齢別にみると、毎日外出する人の割合は、男性の 40 歳代で最も高く、女性の 60～64 歳で 51.3%と最も低くなっている。

イ 外出を控える理由

図 2-24 外出を控える理由



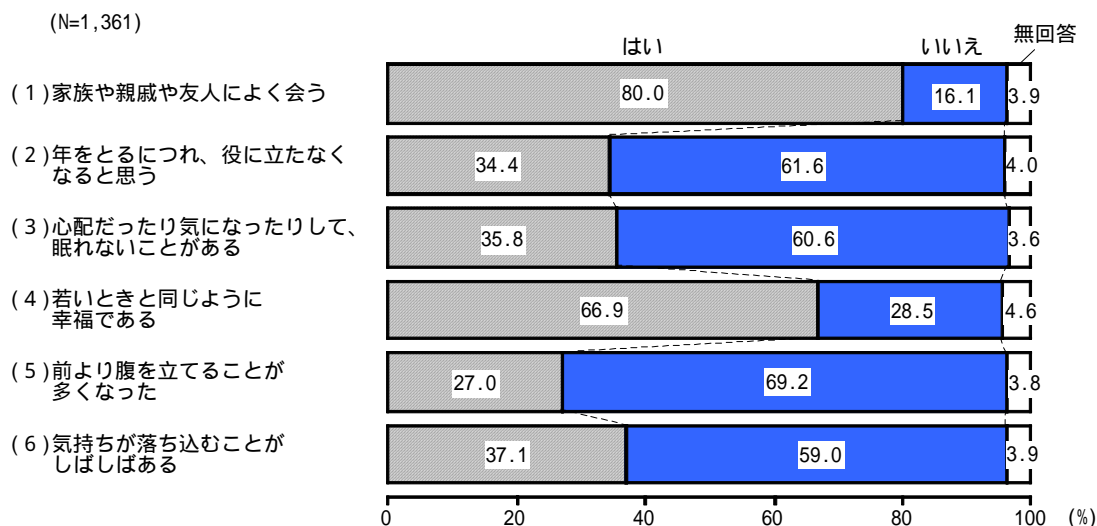
外出頻度が週に1～2日以下の人に外出を控える理由をたずねたところ、「出かける場所や用事がないから」が19.9%と最も多く、次いで「出かけるのがおっくうだから」(17.3%)、「ひざや足腰が痛いから」(13.2%)などとなっている。

3 介護予防と介護のあり方について

(1) 主観的幸福感と心身の変化に対する意識

ア 主観的幸福感（モラル・スケール）

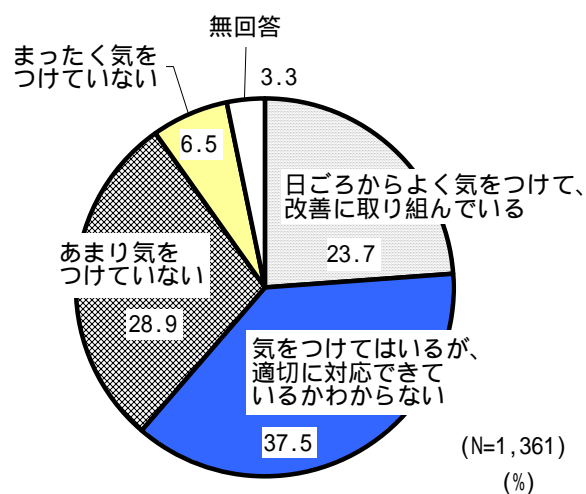
図 2-25 主観的幸福感（モラル・スケール）



『(1) 家族や親戚や友人によく会う』『(4) 若いときと同じように幸福である』について「はい」と答えた人は、順に 80.0%、66.9%を占める。それ以外の項目では「いいえ」が 50~60%台を占め、特に『(5) 前より腹を立てることが多くなった』では 69.2%となっている。

イ 心身の変化に対する意識

図 2-26 心身の変化への対応・改善の有無



心身の変化に対して日ごろから配慮している人は全体の 61.2%であり、「改善に取り組んでいる」人は 23.7%となっている。

表 2-15 性・年齢別 心身の変化への対応・改善の有無

	調査数 (N)	でいて、 日ごろ 改善に 取り組 んでいる	か適 わ切 かにつ から ない では いき ている が、	いあ まり 気をつ けてい ない	なま った く気 をつ けてい ない	無 回 答
男性(全体)	604	19.6	35.9	32.6	8.2	3.7
40～44歳	112	13.3	36.2	41.0	6.7	2.9
45～49歳	100	20.6	30.8	40.2	6.5	1.9
50～54歳	123	23.6	40.0	26.4	7.3	2.7
55～59歳	132	17.5	38.3	30.8	9.2	4.2
60～64歳	137	22.6	33.5	27.4	10.4	6.1
女性(全体)	748	27.3	38.6	26.0	5.1	2.9
40～44歳	135	21.3	29.1	40.2	6.3	3.1
45～49歳	121	24.8	38.8	24.8	7.8	3.9
50～54歳	147	25.0	38.6	31.1	4.5	0.8
55～59歳	188	31.6	41.5	20.5	4.1	2.3
60～64歳	156	31.6	43.3	16.6	3.7	4.8
無回答	9	-	51.6	24.0	12.2	12.2
合計	1361	23.7	37.5	28.9	6.5	3.3

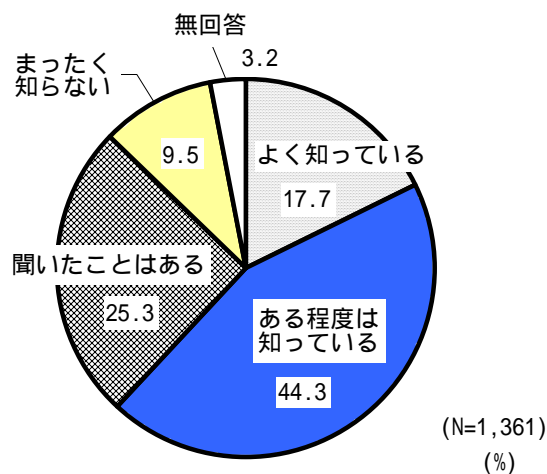
男性全体と女性全体を比べると、「日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる」人の割合は、男性 19.6%に対し、女性 27.3%と、女性の方が高くなっている。

性・年齢別にみると、「日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる」人の割合は、女性の 55～64 歳で 31.6%となっている。一方、「あまり気をつけていない」人の割合は、男性の 40 歳代、女性の 40～44 歳で、ともに 40%を超えている。

(2) 介護予防に関する知識と取り組み

ア 老化予防・介護予防に関する理解

図 2-27 老化予防・介護予防に関する理解



介護予防や老化予防について「知っている」と答えた人は、「よく知っている」と「ある程度知っている」と合わせて 62.0%となっている。

表 2-16 性・年齢別 老化予防・介護予防に関する知識の有無

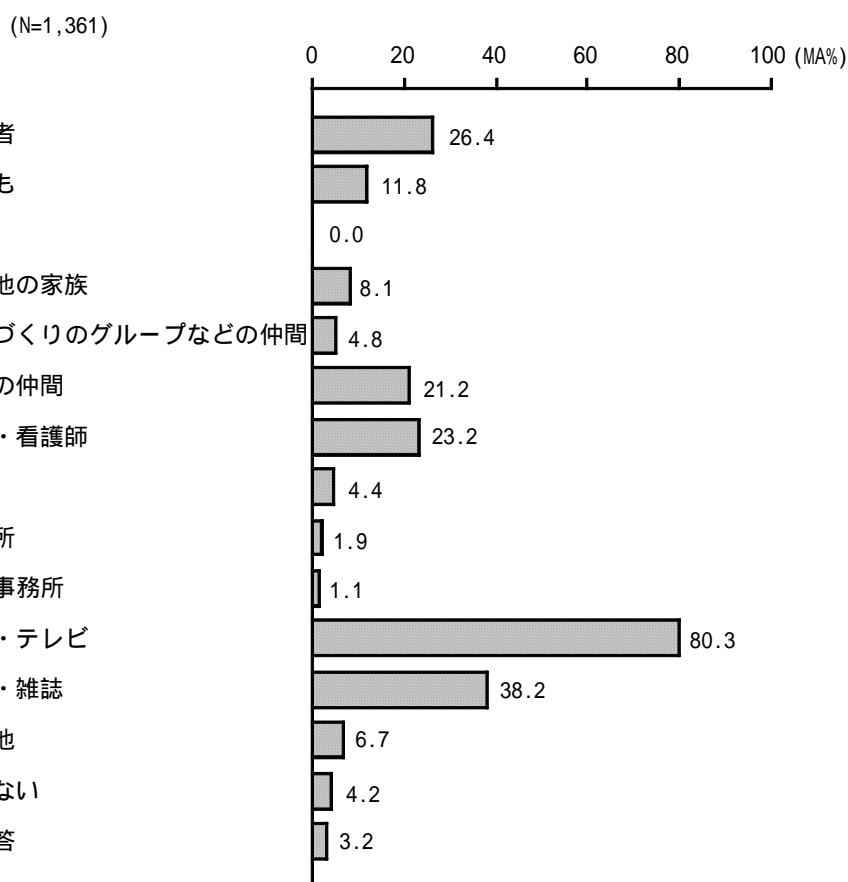
		(%)				
	調査数 (N)	よく 知っている	ある 程度は知 っている	聞 いたこ とはあ る	ま ったく 知ら ない	無 回 答
男性(全体)	604	15.7	42.3	25.9	13.0	3.2
40～44歳	112	12.4	34.3	30.5	20.0	2.9
45～49歳	100	14.0	39.3	28.0	16.8	1.9
50～54歳	123	17.3	38.2	30.0	11.8	2.7
55～59歳	132	14.2	49.2	20.0	14.2	2.5
60～64歳	137	19.5	48.2	22.6	4.3	5.5
女性(全体)	748	19.3	46.2	24.8	6.7	3.1
40～44歳	135	11.0	41.7	33.1	11.0	3.1
45～49歳	121	18.6	43.4	27.1	6.2	4.7
50～54歳	147	17.4	51.5	22.0	8.3	0.8
55～59歳	188	22.2	46.2	24.6	4.7	2.3
60～64歳	156	25.1	47.1	18.7	4.3	4.8
無回答	9	22.6	21.1	31.9	12.2	12.2
合計	1361	17.7	44.3	25.3	9.5	3.2

男性全体と女性全体を比べると、介護予防や老化予防について「よく知っている」または「ある程度は知っている」と答えた人の割合は、男性 58.0%、女性 65.5%と、女性の方が高くなっている。

性・年齢別にみると、介護予防や老化予防について「よく知っている」割合は、男女ともに年齢が上がるにしたがって高くなる傾向にあり 特に女性の60～64歳では25.1%と高い。一方、「まったく知らない」割合は、男性の40～44歳で20.0%と最も高くなっている。

イ 病気・老化の予防や健康づくりに関する情報源

図 2-28 病気・老化の予防や健康づくりに関する情報源



病気・老化予防や健康づくりに関する情報源としては、「新聞・テレビ」が 80.3%と圧倒的に多く、次いで「書籍・雑誌」(38.2%)、「配偶者」(26.4%)、「医師・看護師」(23.2%)、「職場の仲間」(21.2%)の順で多くなっている。

表 2-17 性・年齢別 病気・老化の予防や健康づくりに関する情報源

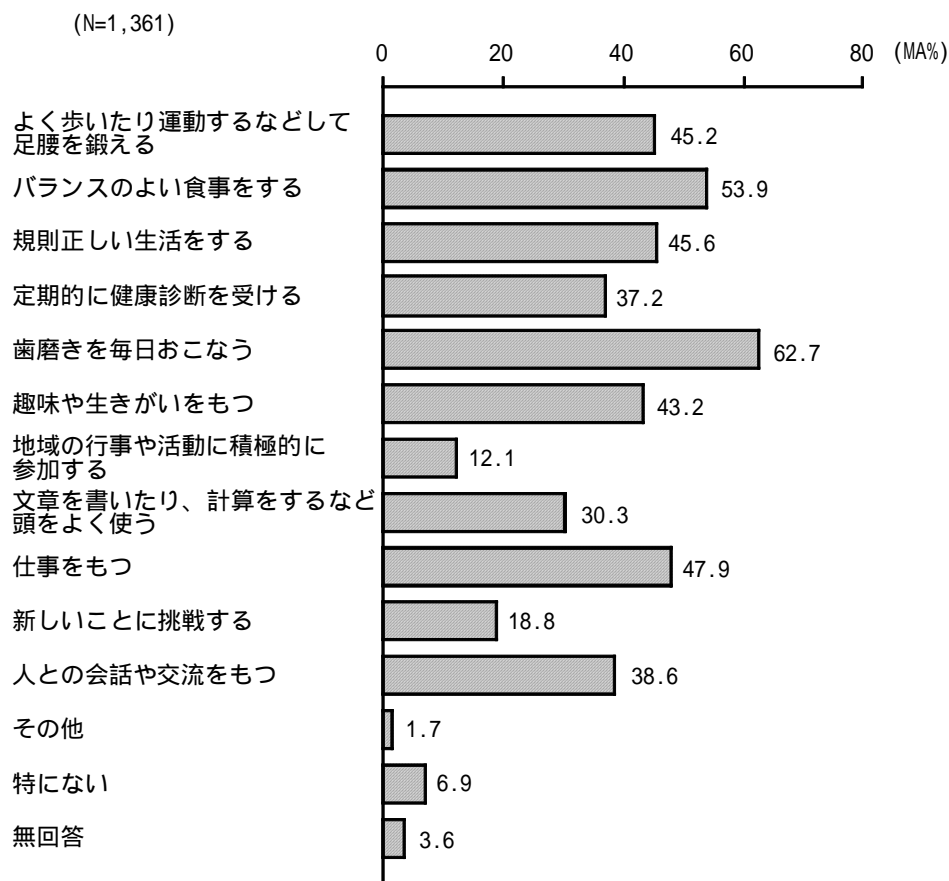
	調査数 (N)	配偶者	子ども	孫	その他の家族	健康づくりのグループなどの仲間	職場の仲間	医師・看護師	薬局	保健所	福祉事務所	新聞・テレビ	書籍・雑誌	その他	特にない	無回答
男性(全体)	604	36.3	8.2	-	5.2	2.0	20.7	28.6	3.6	1.5	0.9	74.5	32.8	6.1	6.0	3.2
40~44歳	112	24.8	2.9	-	6.7	-	15.2	17.1	4.8	-	1.9	74.3	32.4	10.5	9.5	2.9
45~49歳	100	41.1	3.7	-	7.5	3.7	18.7	27.1	4.7	1.9	1.9	79.4	44.9	3.7	3.7	1.9
50~54歳	123	33.6	8.2	-	2.7	0.9	24.5	29.1	2.7	0.9	-	72.7	30.9	8.2	6.4	3.6
55~59歳	132	35.0	8.3	-	2.5	0.8	30.0	30.0	3.3	-	-	76.7	30.0	5.8	4.2	2.5
60~64歳	137	45.7	15.9	-	7.3	4.3	14.0	37.2	3.0	4.3	1.2	70.7	28.7	2.4	6.1	4.9
女性(全体)	748	18.4	14.9	-	10.4	7.1	21.8	18.9	5.0	2.3	1.2	85.7	43.0	7.1	2.7	3.0
40~44歳	135	16.5	5.5	-	15.0	6.3	29.9	12.6	6.3	1.6	0.8	88.2	49.6	9.4	1.6	3.1
45~49歳	121	18.6	13.2	-	10.9	2.3	28.7	20.9	5.4	2.3	-	82.9	44.2	7.8	3.1	3.9
50~54歳	147	15.9	12.1	-	7.6	6.1	18.2	19.7	5.3	0.8	1.5	89.4	45.5	8.3	2.3	0.8
55~59歳	188	18.7	18.7	-	11.1	9.4	21.1	17.0	2.9	2.9	1.8	87.7	42.7	5.8	1.8	2.9
60~64歳	156	21.9	22.5	-	8.0	9.6	13.9	24.6	5.9	3.7	1.6	79.7	34.2	4.8	4.8	4.3
無回答	9	19.7	-	-	11.8	-	10.4	18.5	9.3	-	-	22.6	-	22.6	12.2	12.2
合計	1361	26.4	11.8	-	8.1	4.8	21.2	23.2	4.4	1.9	1.1	80.3	38.2	6.7	4.2	3.2

男性全体と女性全体を比べると、「配偶者」「医師・看護師」などの割合は男性の方が女性よりも高く、「新聞・テレビ」「書籍・雑誌」「子ども」「健康づくりのグループなどの仲間」などについては、女性の方が男性よりも高くなっている。

性・年齢別にみると、男女ともに、いずれの年齢層においても「新聞・テレビ」が約70%～90%となっている。男性の45～64歳では「配偶者」が30～40%台であり、特に60～64歳では45.7%と最も高くなっている。また、男性の60～64歳では「医師・看護師」が37.2%、女性の40～44歳では「書籍・雑誌」が49.6%と、他の年齢層と比べて高くなっている。

ウ 病気・老化の予防のために取り組んでいること

図 2-29 病気・老化の予防のために取り組んでいること



病気・老化予防のために取り組んでいることとしては、「歯磨きを毎日おこなう」が62.7%と最も多く、次いで「バランスのよい食事をする」(53.9%)、「仕事をもつ」(47.9%)、「規則正しい生活をする」(45.6%)、「よく歩いたり運動するなどして足腰を鍛える」(45.2%)、「趣味や生きがいをもつ」(43.2%) などとなっている。

表 2-18 性・年齢別 病気・老化の予防のために取り組んでいること

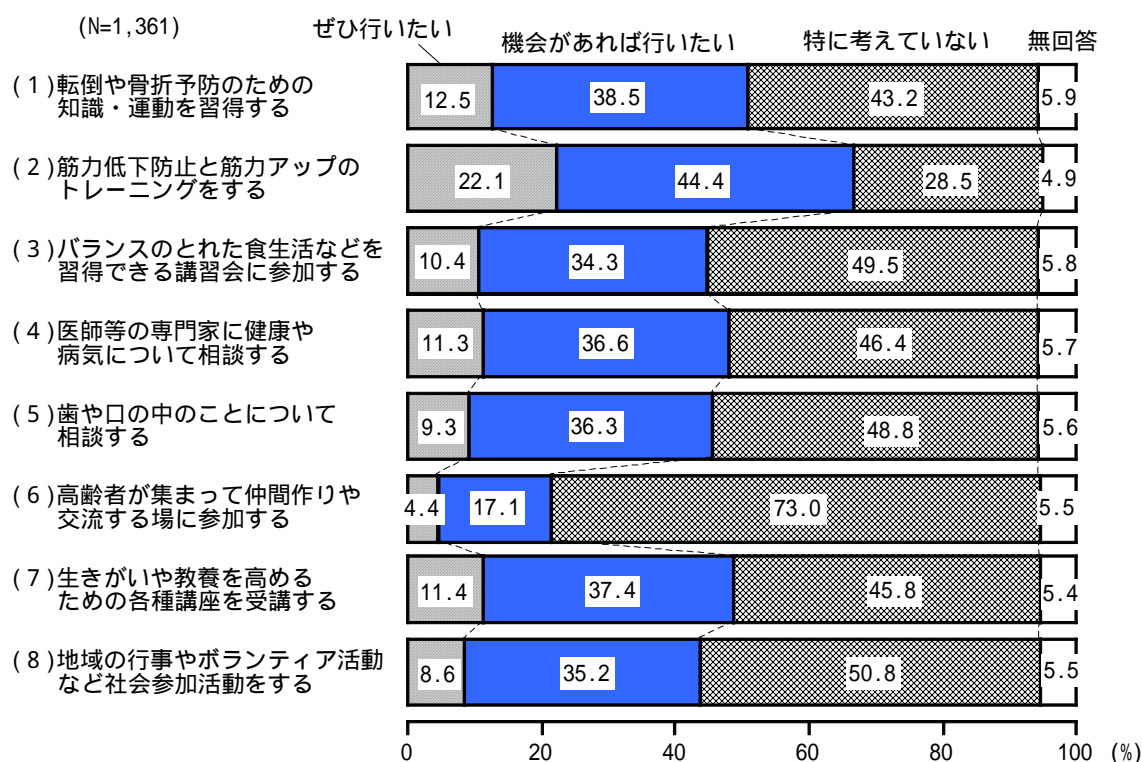
	調査数 (N)	よく歩いて足腰を鍛える	バランスのよい食事をする	規則正しい生活をする	定期的に健康診断を受ける	歯磨きを毎日おこなう	趣味や生きがいをもつ	地域的に参加する	極端に活動に積	文章を書いたり、計算をするなど頭をよく使う	仕事をもつ	新しいことに挑戦する	人との会話や交流をもつ	その他	特にな	無回答
男性 (全体)	604	44.8	44.0	40.4	37.2	56.3	38.9	10.1	28.8	48.0	17.1	26.0	1.9	10.0	3.5	
40～44歳	112	43.8	44.8	39.0	26.7	55.2	35.2	7.6	27.6	43.8	19.0	24.8	1.0	13.3	1.9	
45～49歳	100	41.1	47.7	41.1	31.8	60.7	37.4	10.3	29.0	56.1	19.6	27.1	0.9	5.6	1.9	
50～54歳	123	41.8	37.3	40.0	32.7	50.9	41.8	9.1	30.9	36.4	20.0	26.4	1.8	12.7	1.8	
55～59歳	132	47.5	45.8	40.8	40.0	54.2	33.3	10.8	26.7	55.0	13.3	23.3	1.7	10.0	5.0	
60～64歳	137	48.2	45.1	40.9	51.2	61.0	45.7	12.2	29.9	49.4	14.6	28.7	3.7	7.9	6.1	
女性 (全体)	748	45.9	62.0	50.0	37.3	68.0	47.1	13.8	31.6	48.0	20.5	48.7	1.6	4.3	3.6	
40～44歳	135	43.3	63.8	56.7	28.3	67.7	47.2	16.5	34.6	62.2	22.0	52.0	0.8	3.1	0.8	
45～49歳	121	43.4	55.8	42.6	36.4	61.2	39.5	15.5	25.6	51.2	19.4	48.8	0.8	7.0	3.9	
50～54歳	147	43.9	52.3	45.5	35.6	65.2	46.2	9.1	29.5	43.9	18.2	40.9	2.3	6.8	3.0	
55～59歳	188	48.5	68.4	49.1	40.9	70.8	48.0	11.7	34.5	45.6	23.4	49.1	1.2	2.3	5.8	
60～64歳	156	48.7	66.8	55.1	42.8	72.7	52.4	17.1	32.1	40.1	18.7	52.4	2.7	3.2	3.7	
無回答	9	21.5	45.5	33.7	31.9	45.5	9.3	10.4	19.7	19.7	-	43.7	-	12.2	9.3	
合計	1361	45.2	53.9	45.6	37.2	62.7	43.2	12.1	30.3	47.9	18.8	38.6	1.7	6.9	3.6	

男性全体と女性全体を比べると、取り組んでいる割合は、女性の方が男性よりも総じて高く、特に「バランスのよい食事をする」「歯磨きを毎日おこなう」「人との会話や交流をもつ」などの項目において、大きな差がみられる。

性・年齢別にみると、「バランスのよい食事をする」「歯磨きを毎日おこなう」の割合は、女性の55～64歳で70%前後と高くなっている。また、男性の60～64歳では「定期的に健康診断を受ける」(51.2%)、女性の60～64歳では「趣味や生きがいをもつ」(52.4%)が他の年齢層と比べて高くなっている。

エ 病気・老化の予防や健康づくりのためにやりたいこと

図 2-30 病気・老化の予防や健康づくりのためにやりたいこと



病気・老化予防や健康づくりのために今後行いたいこと（「ぜひ行いたい」に「機会があれば行いたい」を加えた割合）としては、『(2) 筋力低下防止と筋力アップのトレーニングをする』が 66.5%と最も多く、次いで『(1) 転倒や骨折予防のための知識・運動を習得する』(51.0%)、『(7) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する』(48.8%)、『(4) 医師等の専門家に健康や病気について相談する』(47.9%)となっている。

表 2-19 性・年齢別 病気・老化の予防や健康づくりのためにやりたいこと

(1) 転倒や骨折予防のための知識・運動を習得する

(2) 筋力低下防止と筋力アップのトレーニングをする

(3) バランスのとれた食生活などを習得できる講習会に参加する

	調査数 (N)	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性(全体)	604	10.7	30.5	52.9	5.8
40~44歳	112	12.4	30.5	51.4	5.7
45~49歳	100	15.9	29.9	51.4	2.8
50~54歳	123	6.4	30.9	58.2	4.5
55~59歳	132	6.7	33.3	54.2	5.8
60~64歳	137	13.4	28.0	49.4	9.1
女性(全体)	748	13.8	44.7	35.5	5.9
40~44歳	135	10.2	42.5	46.5	0.8
45~49歳	121	13.2	49.6	32.6	4.7
50~54歳	147	14.4	41.7	39.4	4.5
55~59歳	188	14.6	43.3	33.3	8.8
60~64歳	156	16.0	47.6	27.3	9.1
無回答	9	12.2	54.1	24.4	9.3
合計	1361	12.5	38.5	43.2	5.9

	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
	22.2	40.6	32.7	4.5
	26.7	44.8	24.8	3.8
	27.1	43.0	27.1	2.8
	19.1	40.0	38.2	2.7
	16.7	43.3	35.0	5.0
	23.2	33.5	36.0	7.3
	22.3	47.3	25.1	5.2
	24.4	52.0	22.8	0.8
	23.3	51.2	20.9	4.7
	20.5	47.7	27.3	4.5
	23.4	45.0	23.4	8.2
	20.3	42.8	30.5	6.4
	-	54.1	36.6	9.3
	22.1	44.4	28.5	4.9

	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
	9.0	29.8	55.8	5.4
	11.4	38.1	46.7	3.8
	11.2	31.8	54.2	2.8
	10.0	25.5	62.7	1.8
	7.5	28.3	57.5	6.7
	6.1	26.8	56.7	10.4
	11.7	37.8	44.5	6.1
	11.8	38.6	48.0	1.6
	11.6	45.0	39.5	3.9
	9.8	33.3	52.3	4.5
	12.9	34.5	44.4	8.2
	11.8	39.6	38.0	10.7
	-	42.3	48.4	9.3
	10.4	34.3	49.5	5.8

(4) 医師等の専門家に健康や病気について相談する

(5) 歯や口の中のことについて相談する

(6) 高齢者が集まって仲間作りや交流する場に参加する

	調査数 (N)	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性(全体)	604	12.2	35.6	47.2	5.1
40~44歳	112	11.4	40.0	44.8	3.8
45~49歳	100	11.2	43.0	43.9	1.9
50~54歳	123	12.7	23.6	60.9	2.7
55~59歳	132	11.7	37.5	45.0	5.8
60~64歳	137	13.4	35.4	41.5	9.8
女性(全体)	748	10.7	37.5	45.5	6.3
40~44歳	135	8.7	37.0	53.5	0.8
45~49歳	121	11.6	35.7	48.8	3.9
50~54歳	147	9.8	37.1	47.7	5.3
55~59歳	188	8.8	38.0	44.4	8.8
60~64歳	156	15.0	39.0	35.3	10.7
無回答	9	9.3	24.0	57.4	9.3
合計	1361	11.3	36.6	46.4	5.7

	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
	9.4	34.8	50.9	4.8
	10.5	42.9	43.8	2.9
	10.3	41.1	44.9	3.7
	8.2	30.0	60.0	1.8
	7.5	35.8	51.7	5.0
	11.0	26.8	52.4	9.8
	9.3	37.6	47.0	6.1
	7.1	44.9	47.2	0.8
	7.0	45.0	44.2	3.9
	11.4	31.1	53.0	4.5
	9.9	35.7	45.6	8.8
	10.2	34.2	44.9	10.7
	-	31.5	59.2	9.3
	9.3	36.3	48.8	5.6

	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
	3.8	14.3	77.2	4.7
	3.8	14.3	77.1	4.8
	1.9	9.3	86.0	2.8
	3.6	10.0	84.5	1.8
	4.2	16.7	74.2	5.0
	4.9	19.5	67.1	8.5
	4.9	19.4	69.6	6.1
	3.9	16.5	78.7	0.8
	3.1	22.5	70.5	3.9
	4.5	12.9	77.3	5.3
	5.3	17.5	69.0	8.2
	7.0	27.8	54.5	10.7
	-	21.5	69.3	9.3
	4.4	17.1	73.0	5.5

(7) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する

(8) 地域の行事やボランティア活動など社会参加活動をする

	調査数 (N)	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性(全体)	604	7.9	31.7	55.4	5.1
40~44歳	112	8.6	32.4	55.2	3.8
45~49歳	100	8.4	34.6	54.2	2.8
50~54歳	123	8.2	27.3	61.8	2.7
55~59歳	132	6.7	34.2	53.3	5.8
60~64歳	137	7.9	30.5	52.4	9.1
女性(全体)	748	13.9	42.4	38.0	5.7
40~44歳	135	15.0	48.0	36.2	0.8
45~49歳	121	10.9	45.0	40.3	3.9
50~54歳	147	18.2	37.9	38.6	5.3
55~59歳	188	14.0	44.4	33.3	8.2
60~64歳	156	11.2	37.4	42.8	8.6
無回答	9	34.4	-	56.3	9.3
合計	1361	11.4	37.4	45.8	5.4

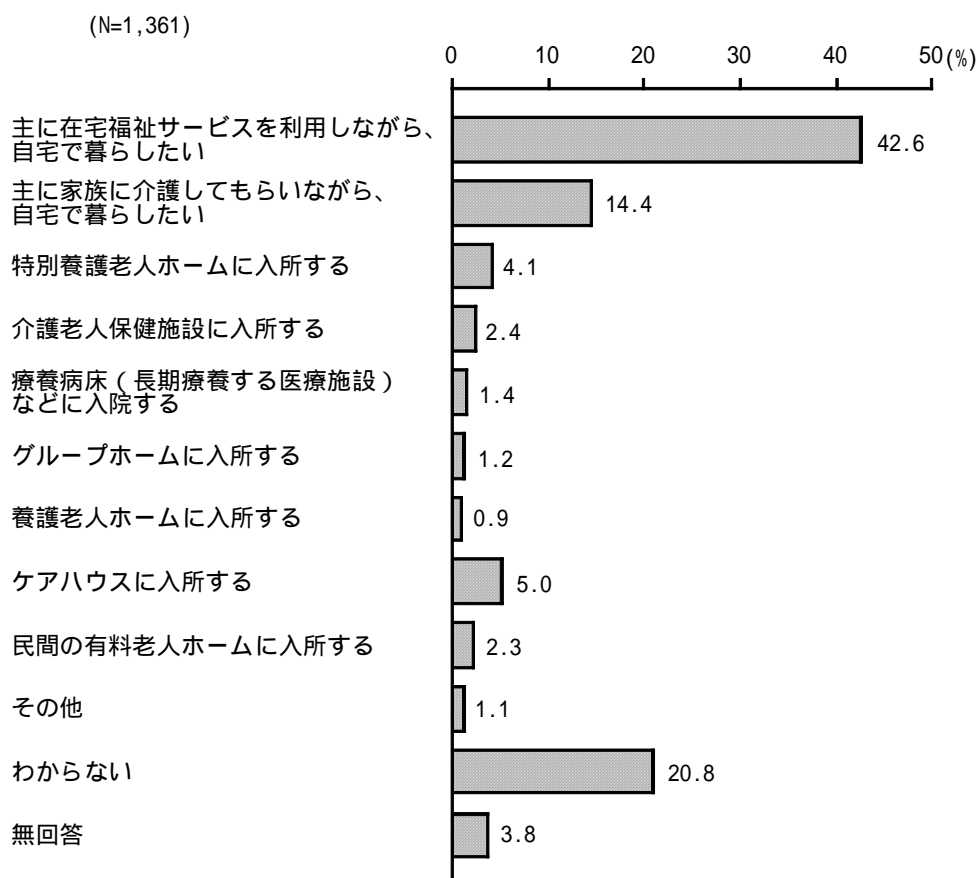
	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
	8.8	31.1	55.3	4.8
	5.7	36.2	53.3	4.8
	11.2	29.9	57.0	1.9
	9.1	26.4	61.8	2.7
	9.2	30.8	55.0	5.0
	9.1	32.3	50.0	8.5
	8.3	38.9	46.9	6.0
	8.7	47.2	43.3	0.8
	7.0	44.2	45.0	3.9
	9.1	35.6	50.8	4.5
	7.6	38.0	45.6	8.8
	9.1	31.6	49.2	10.2
	12.2	-	78.5	9.3
	8.6	35.2	50.8	5.5

「ぜひ行きたい」に「機会があれば行きたい」を加えた割合について、男性全体と女性全体を比べると、総じて女性の方が男性よりも高く、特に『(1) 転倒や骨折予防のための知識・運動を習得する』『(7) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する』において、大きな差がみられる。

性・年齢別にみると、『(1) 転倒や骨折予防のための知識・運動を習得する』については、女性の45～49歳及び60～64歳で60%を超えている。『(2) 筋力低下防止と筋力アップのトレーニングをする』については、男女とも40歳代で70%を超えている。また、『(7) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する』については、女性の40～44歳で63.0%と、他の年齢層と比べて高くなっている。

(3) 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方

図 2-31 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方



調査対象者本人に介護が必要となった場合に希望する暮らし方としては、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が42.6%、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」が14.4%となっており、合計すると全体の57.0%が自宅での生活を希望している。

表 2-20 性・年齢別 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方

(%)

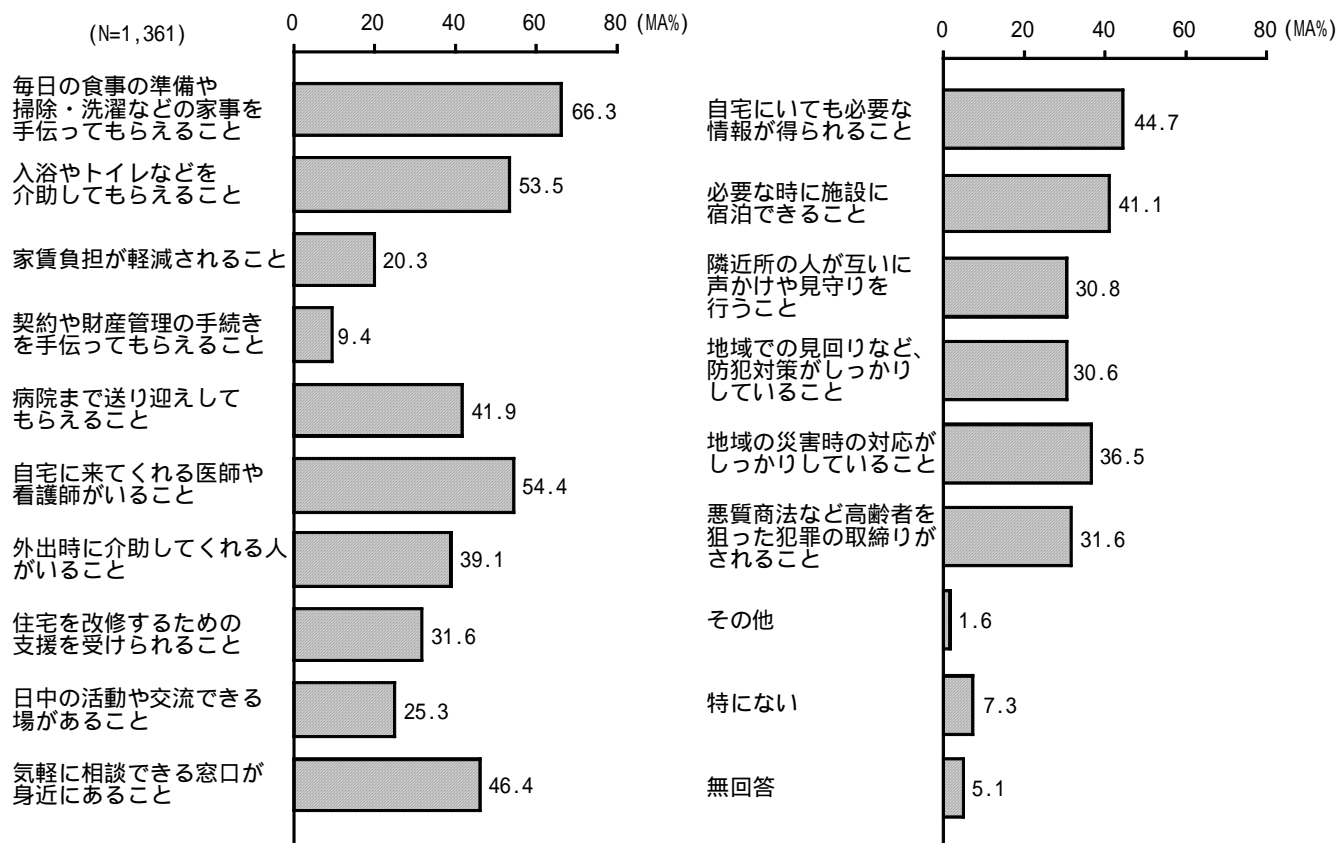
	調査数 (N)	で暮らしながら、自宅で暮らしたい	主に在宅福祉サービスを利用して暮らしたい	主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	特別養護老人ホームに入所する	介護老人保健施設に入所する	療養病床(長期療養する医療施設)などに入院する	グループホームに入所する	養護老人ホームに入所する	ケアハウスに入所する	民間の有料老人ホームに入所する	その他	わからない	無回答
男性(全体)	604	39.0	21.1	4.1	2.3	1.2	0.9	1.3	3.0	1.6	0.9	20.7	3.8	
40~44歳	112	36.2	21.9	8.6	1.9	-	1.0	-	3.8	1.9	1.9	21.9	1.0	
45~49歳	100	44.9	15.9	0.9	2.8	0.9	1.9	0.9	3.7	1.9	0.9	23.4	1.9	
50~54歳	123	41.8	18.2	2.7	1.8	0.9	-	0.9	3.6	0.9	1.8	25.5	1.8	
55~59歳	132	37.5	27.5	3.3	3.3	0.8	1.7	2.5	-	0.8	-	15.8	6.7	
60~64歳	137	36.0	20.7	4.9	1.8	3.0	-	1.8	4.3	2.4	-	18.3	6.7	
女性(全体)	748	46.1	8.9	4.2	2.5	1.4	1.4	0.6	6.6	2.8	1.1	20.6	3.7	
40~44歳	135	40.2	9.4	3.1	1.6	0.8	1.6	0.8	4.7	3.9	2.4	30.7	0.8	
45~49歳	121	40.3	9.3	5.4	3.1	0.8	-	0.8	7.0	3.1	0.8	25.6	3.9	
50~54歳	147	48.5	8.3	3.8	1.5	-	2.3	0.8	4.5	3.8	0.8	22.7	3.0	
55~59歳	188	43.9	11.1	5.3	4.7	1.8	2.3	-	9.4	1.2	1.8	12.9	5.8	
60~64歳	156	56.1	5.9	3.2	1.1	3.2	0.5	1.1	6.4	2.7	-	15.5	4.3	
無回答	9	-	21.1	-	-	12.2	-	-	-	10.4	10.4	36.6	9.3	
合計	1361	42.6	14.4	4.1	2.4	1.4	1.2	0.9	5.0	2.3	1.1	20.8	3.8	

男性全体と女性全体を比べると、自宅での生活を希望している割合は、男性 60.1%、女性 55.0%となっているが、女性は男性よりも「主に在宅福祉サービスを利用して暮らしたい」の割合が高いのに対し、男性は女性よりも「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」の割合が高くなっている。

性・年齢別にみると、「主に在宅福祉サービスを利用して暮らしたい」の割合は、女性の 60~64 歳で 56.1%と他の年齢層と比べて高くなっている。一方、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」については、男性の 55~59 歳で 27.5%と最も高く、40~44 歳、60~64 歳においても 20%を超えている。

(4) 在宅生活を続けていく上で必要な支援

図 2-32 在宅生活を続けていく上で必要な支援



在宅生活を続けていく上で必要な支援としては、「毎日の食事の準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が66.3%と最も多く、次いで「自宅に来てくれる医師や看護師がいること」(54.4%)、「入浴やトイレなどを介助してもらえること」(53.5%)、「気軽に相談できる窓口が身近にあること」(46.4%)、「自宅にいても必要な情報が得られること」(44.7%)、「病院まで送り迎えしてもらえること」(41.9%)などとなっている。

表 2-21 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方別
在宅生活を続けていく上で必要な支援

	調査数 (N)	手伝つてもらえること	毎日の食事の準備や掃除	入浴やトイレなどを介	家事負担が軽減されること	契約や財産管理の手続きを手伝つてもらえること	病院まで送り迎えしてもらえ	自宅に来てくれる医師や看護師がいること	外出時に介助してくれる人がいること	住宅を改修するための支援を受けられること	日中の活動や交流できる場があること	気軽に相談できる窓口が身近にあること
主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい	580	75.6	61.1	18.0	7.0	49.1	63.6	41.6	35.9	28.1	50.5	
主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	196	66.6	56.4	20.7	7.1	38.8	51.1	36.9	25.0	21.0	46.1	
特別養護老人ホームに入所する	56	76.5	67.4	28.4	11.1	44.1	61.0	49.6	37.0	26.7	42.1	
介護老人保健施設に入所する	33	71.8	59.3	27.5	6.7	62.2	56.3	65.8	27.3	38.5	56.3	
療養病床（長期療養する医療施設）などに入所する	19	69.0	59.5	21.2	4.5	30.8	60.0	49.2	28.7	25.1	40.3	
グループホームに入所する	16	74.1	39.1	7.0	20.7	47.3	39.7	40.8	40.8	40.8	41.5	
養護老人ホームに入所する	13	86.0	56.7	22.7	17.2	46.1	39.5	39.3	44.7	13.2	37.8	
ケアハウスに入所する	67	80.5	61.5	24.6	20.4	59.5	57.5	59.2	46.3	36.7	54.2	
民間の有料老人ホームに入所する	32	67.7	42.6	12.2	19.7	38.8	49.5	55.0	18.9	9.9	41.3	
その他	15	57.3	43.5	21.6	14.7	29.4	56.8	36.0	35.7	34.9	65.4	
わからない	283	51.5	41.8	26.5	12.7	30.8	46.6	29.9	28.8	23.6	44.4	
無回答	52	3.7	1.6	-	-	1.6	2.1	1.6	1.6	-	3.2	
合計	1361	66.3	53.5	20.3	9.4	41.9	54.4	39.1	31.6	25.3	46.4	

	調査数 (N)	報自 が宅 に得 られ ても 必要 な情 報	で必 要な 時に 施設 に宿 泊 でき ること	とか け近 所 の 見 守 り が 互 に う こ し	隣 に 防 域 で の 見 回 り な ど、 て い る 犯 罪 の 取 締 り が し	地 域 の 災 害 時 の 対 応 が し	し ら れ た 犯 罪 の 取 締 り が し	悪 質 商 法 な ど 高 齢 者 を 狙 った 犯 罪 の 取 締 り が し	そ の 他	特 に な い	無 回 答
主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい	580	49.6	46.0	36.1	34.2	42.6	35.0	1.4	2.6	1.0	
主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	196	51.7	26.2	26.2	29.6	33.0	32.4	2.1	6.2	1.0	
特別養護老人ホームに入所する	56	41.5	55.1	24.5	29.0	33.5	37.7	-	5.4	1.5	
介護老人保健施設に入所する	33	41.0	63.2	41.9	31.9	37.9	37.1	-	3.3	3.4	
療養病床（長期療養する医療施設）などに入所する	19	49.7	54.2	30.8	35.3	30.1	43.5	-	17.7	-	
グループホームに入所する	16	26.0	53.0	32.2	19.8	46.8	20.6	-	-	-	
養護老人ホームに入所する	13	23.8	41.4	61.9	-	15.4	13.2	-	7.4	-	
ケアハウスに入所する	67	48.6	66.3	42.5	44.6	51.3	38.8	1.4	1.6	2.5	
民間の有料老人ホームに入所する	32	41.0	31.3	22.2	15.2	32.2	21.9	-	6.0	-	
その他	15	43.0	36.1	28.2	34.5	43.2	41.9	-	14.4	-	
わからない	283	39.8	37.3	25.1	29.3	30.8	27.4	3.3	20.5	3.7	
無回答	52	3.7	-	1.6	-	1.6	-	-	2.1	90.9	
合計	1361	44.7	41.1	30.8	30.6	36.5	31.6	1.6	7.3	5.1	

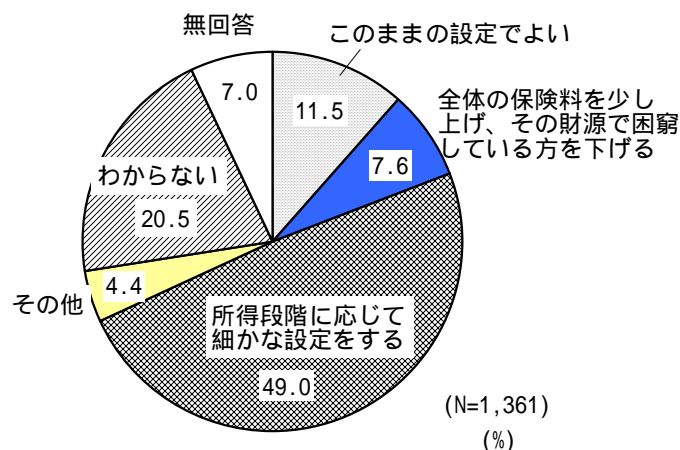
介護や支援が必要となった場合に希望する暮らし方別にみると、主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい人では、「毎日の食事の準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が75.6%、「自宅に来てくれる医師や看護師がいること」が63.6%と高くなっている。また、介護保険3施設及びケアハウスや民間の有料老人ホームを希望する人では、「外出時に介助してくれる人がいること」「必要な時に施設に宿泊できること」などの割合が相対的に高くなっている。

4 介護保険制度について

(1) 保険料の設定および給付・負担のあり方についての意向

ア 介護保険料の設定方法について

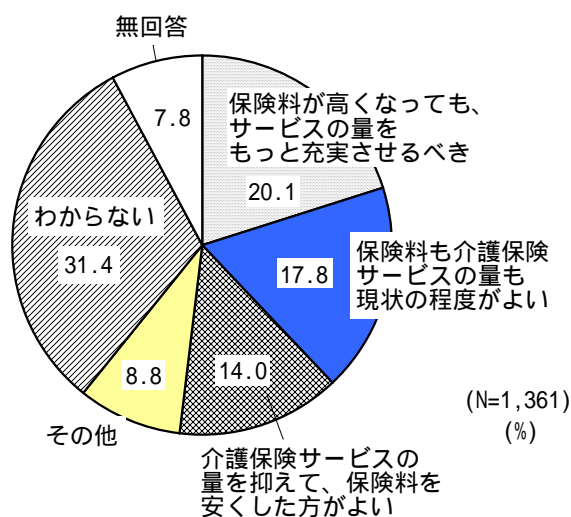
図 2-33 介護保険料の設定方法について



第1号被保険者の所得段階別保険料の設定方法については、「所得段階に応じて細かな設定をする」が49.0%と多く、「このままの設定でよい」は11.5%、「全体の保険料を少し上げ、その財源で困窮している方を下げる」は7.6%となっている。

イ 今後の保険料のあり方について

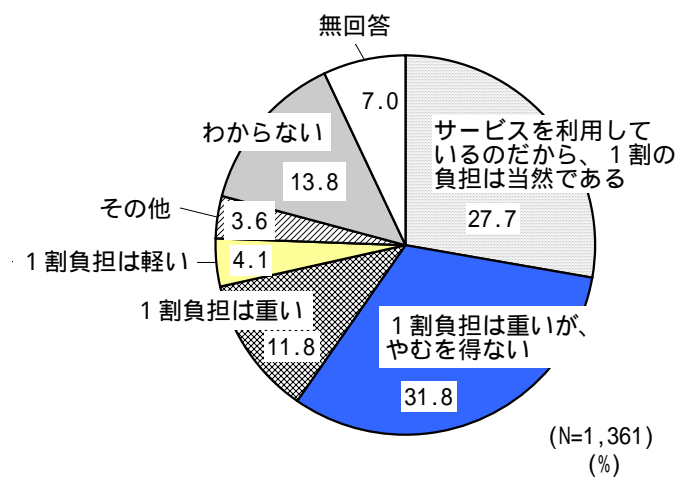
図 2-34 今後の保険料のあり方について



今後の保険料のあり方としては、「保険料が高くなっても、サービスの量をもっと充実させるべき」が20.1%、「保険料も介護保険サービスの量も現状の程度がよい」が17.8%、「介護保険サービスの量を抑えて、保険料を安くした方がよい」が14.0%となっている。

ウ 利用者負担について

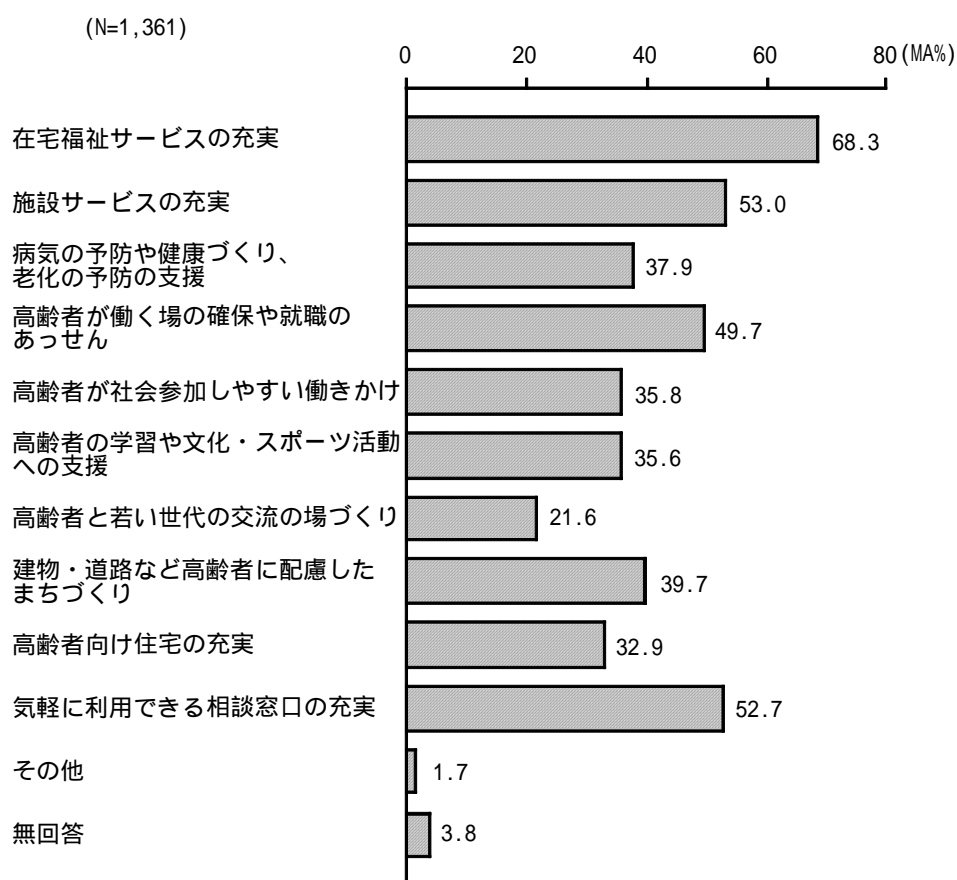
図 2-35 利用者負担について



介護サービス利用料の1割負担については、「1割負担は重い、やむを得ない」が31.8%と最も多く、次いで「サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である」(27.7%)、「1割負担は重い」(11.8%)となっている。

(2) 高齢者保健福祉施策に対する要望

図 2-36 高齢者保健福祉について充実を希望する施策



高齢者保健福祉について今後充実を望む施策としては、「在宅福祉サービスの充実」が 68.3%と最も多く、次いで「施設サービスの充実」(53.0%)、「気軽に利用できる相談窓口の充実」(52.7%)、「高齢者が働く場の確保や就職のあっせん」(49.7%)の順となっている。

5 自由意見

自由意見欄には、297人（記入率21.8%）から延べ325件の回答があった。回答内容の分類と件数は以下のとおりである。

1 介護保険料の負担	32
介護保険料が高い，介護保険料を安くしてほしい	7
介護保険料を納めているのにサービスを受けられないことのないようにしてほしい	6
介護サービスを利用していない人の保険料負担を軽くしてほしい（払い戻し，減免等）	6
介護保険料が低所得者の負担にならないようにしてほしい（5段階区分の見直し，減免等）	5
介護保険料を負担することは当然である，やむを得ない	1
その他，保険料負担に関する意見	7
2 サービスの利用料負担	14
サービスの利用料が高い，サービスの利用料を安くしてほしい	6
サービスの利用料（1割負担）が低所得者の負担にならないようにしてほしい（無料利用，減免等）	3
その他，サービスの利用料負担に関する意見	5
3 介護保険制度全般	48
公正な制度にしてほしい（事業者や利用者間で不正・不平等がないよう調査・監視する等）	11
無駄や負担の少ない制度にしてほしい（税を重点的に配分する等）	7
利用しやすい制度にしてほしい（実態に即した柔軟な対応等）	7
介護保険に満足している，期待している	4
家族介護を重視してほしい（精神面や経済面でのサポート等）	4
介護保険には不満がある，反対，廃止してほしい	2
その他，介護保険制度全般に関する意見	13
4 要介護認定	10
個々のケースをきちんと調査・検討してほしい	4
要介護認定は公正に行ってほしい	4
痴呆の症状が軽く認定される傾向を改善してほしい	2
5 介護保険制度に関する情報公開	18
制度の仕組みや利用方法，収支に関する情報提供を充実してほしい	10
サービス内容や事業者に関する情報，評価等を公表してほしい	8
6 ケアプラン・ケアマネジャー	3

ケアマネジャーの質の向上を促してほしい	2
その他，ケアプラン・ケアマネジャーに関する意見	1

7 在宅サービスの充実	16
デイサービスやショートステイ等，在宅サービスを充実・利用しやすくしてほしい	5
在宅サービスに関わる人材の育成・質の向上を図ってほしい（ヘルパー等）	5
その他，在宅サービスの充実に関する意見	6

8 施設サービスの充実	31
介護保険施設を増やしてほしい（特別養護老人ホーム，老人保健施設等）	13
施設職員の教育，質の向上を図ってほしい	7
施設職員の待遇改善	4
施設の入所待ちの状況を改善してほしい	2
その他，施設サービスの充実に関する意見	5

9 高齢者施策全般	73
高齢者の自立支援・健康増進施策に力を入れてほしい	24
気軽に相談を受けられる窓口を整備してほしい	10
高齢者が安心できるまちづくりを進めてほしい（道路や建物の整備等）	9
他の世代との交流	8
地域福祉の充実を図ってほしい（ボランティア育成等）	4
外出・移動支援を充実してほしい（移送サービス，タクシー利用時の補助等）	4
高齢者の実態把握に力を入れてほしい（独居高齢者への見守り，定期訪問等）	2
規則や手続きを簡単にわかりやすくしてほしい	2
その他，高齢者施策全般に関する意見	10

10 その他の意見	80
介護保険制度をまだ利用していないのでわからない，これから勉強したい	26
アンケートに関する意見	11
市行政に関する意見	10
福祉全般の充実を求める意見	6
今はまだ介護が必要ではないが，将来が不安である	3
その他の意見	24

